

令和5年度版 塩釜保健所管内の健康・生活習慣の現状 (塩釜・岩沼・黒川圏域)



塩釜地区健康課題啓発ポスター(H30作成)



岩沼地区健康課題啓発ポスター(R1作成)



黒川地区健康課題啓発ポスター(R1作成)

- 塩釜保健所では、メタボにつながる可能性のある生活習慣として、
塩釜圏域「朝食欠食」 岩沼圏域「夕食後の間食」 黒川圏域「夜遅い食事」
をテーマとして平成30年度～令和元年度にポスターを作成し、啓発を図っています。
- 本資料は、最新の各種統計資料から宮城県及び塩釜保健所管内（塩釜圏域・岩沼圏域・黒川圏域）の健康課題をまとめたものです。

目次

- 1 塩釜保健所管内の健康・生活習慣の現状（概要）
- 2 県及び塩釜保健所管内の健康寿命
- 3 主な死因の圏域別標準化死亡比
- 4 患者状況（糖尿病、人工透析）
- 5 特定健診・特定保健指導の状況
- 6 特定健診の状況（特定健診有所見者）
- 7 生活習慣の状況（特定健診質問票）
- 8 特定健診データからみた宮城県民のメタボ要因分析
- 9 肥満傾向児の出現率の割合

1 塩釜保健所管内の健康・生活習慣の現状 (概要)

R5年度版塩釜保健所管内の健康課題(まとめ)

◆大人 H27年度からR2年度までの結果より

圏域		生活習慣	特定健診結果・受療状況	死因
塩釜	男性	就寝前2時間以内に夕食をとる人が多い 朝食欠食者が多い	人工透析患者が多い メタボ該当者・予備群が多い HbA1c有所見者が多い LDL有所見者が多い	悪性新生物の標準化死亡比が高い 脳血管疾患の標準化死亡比が高い 心疾患の標準化死亡比が高い
	女性	就寝前2時間以内に夕食をとる人が多い 朝食欠食者が多い 喫煙者が多い 毎日飲酒する人が多い	人工透析患者が多い HbA1c有所見者が多い LDL有所見者が多い	悪性新生物の標準化死亡比が高い 脳血管疾患の標準化死亡比が高い
岩沼	男性	就寝前2時間以内に夕食をとる人が多い 20歳から10kg以上増加している人が多い 睡眠で休養が十分とれていない人が多い	メタボ該当者・予備群が多い HbA1c有所見者が多い LDL有所見者が多い	悪性新生物の標準化死亡比が高い 脳血管疾患の標準化死亡比が高い
	女性	就寝前2時間以内に夕食をとる人が多い 20歳から10kg以上増加している人が多い 睡眠で休養が十分とれていない人が多い	メタボ該当者・予備群が多い HbA1c有所見者が多い	脳血管疾患の標準化死亡比が高い 心疾患の標準化死亡比が高い
黒川	男性	就寝前2時間以内に夕食をとる人が多い 20歳から10kg以上増加している人が多い	HbA1c有所見者が多い	脳血管疾患の標準化死亡比が高い
	女性	就寝前2時間以内に夕食をとる人が多い	HbA1c有所見者が多い 中性脂肪有所見者が多い	悪性新生物の標準化死亡比が高い 脳血管疾患の標準化死亡比が高い

◆子ども R3年度結果より

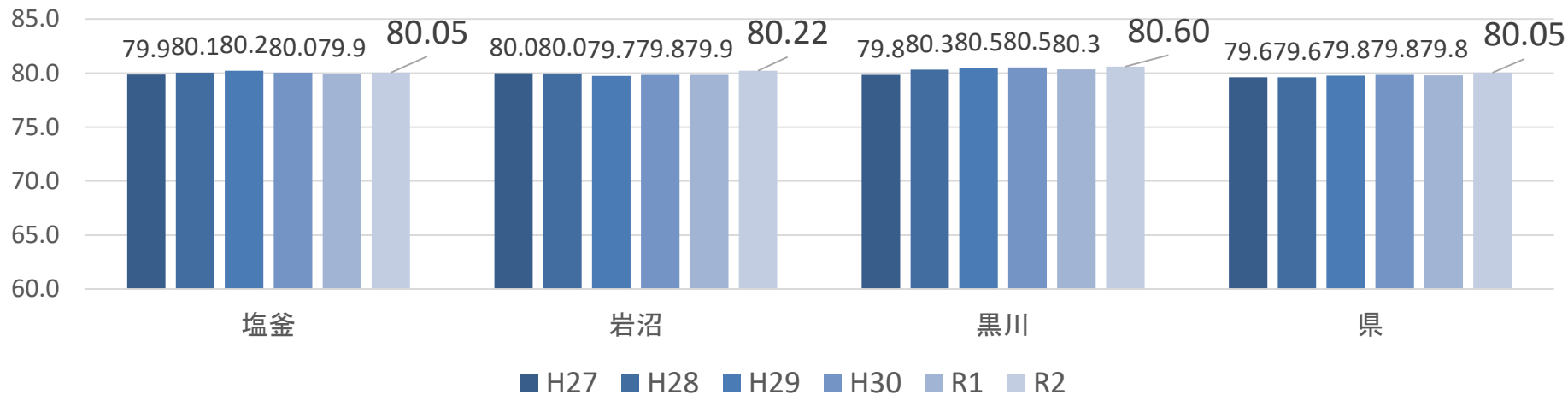
◇令和3年度の県の肥満傾向児の割合は、全国と比較すると、男女ともにすべての年齢で全国値を超えていた。

◇仙台教育事務所管内で、令和3年度の肥満傾向児の割合をみると、小学5年生は男女とも県平均を上回り、中学2年生は男女とも県平均を下回っていた。

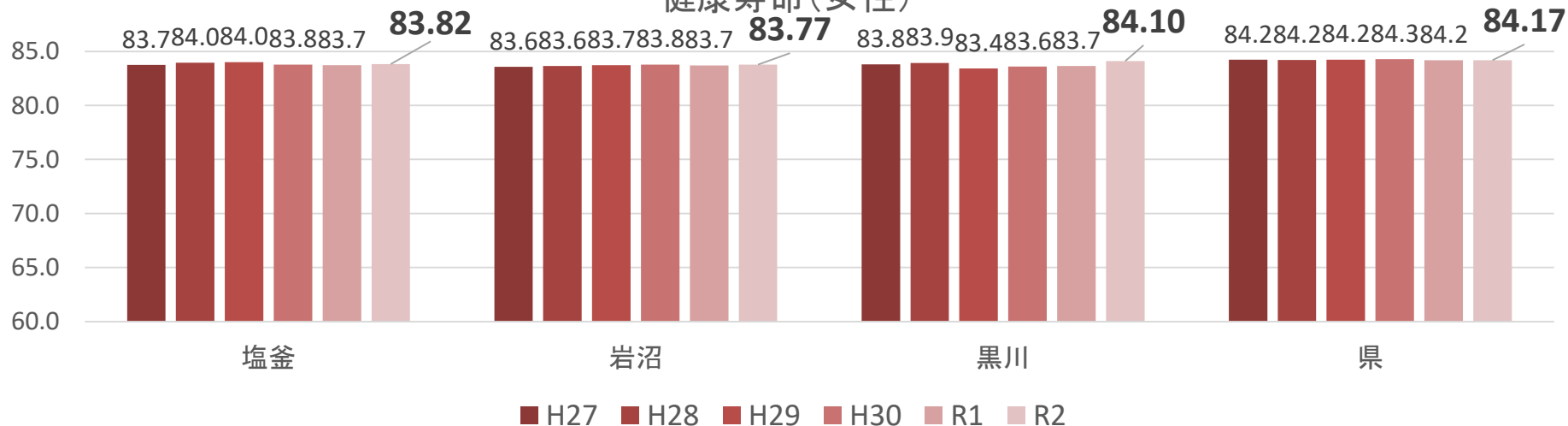
2 県及び塩釜保健所管内の健康寿命

県及び塩釜保健所管内の健康寿命

健康寿命(男性)



健康寿命(女性)



3 主な死因の圏域別標準化死亡比

悪性新生物(男性)

圏域別標準化死亡比EBSMR(令和2年)

*EBSMR: 全国を100として相対値で表しており、100より大きい場合、全国平均と比べて出現割合が高いことを示している。



<圏域別標準化死亡比 県内ワースト順位の推移>

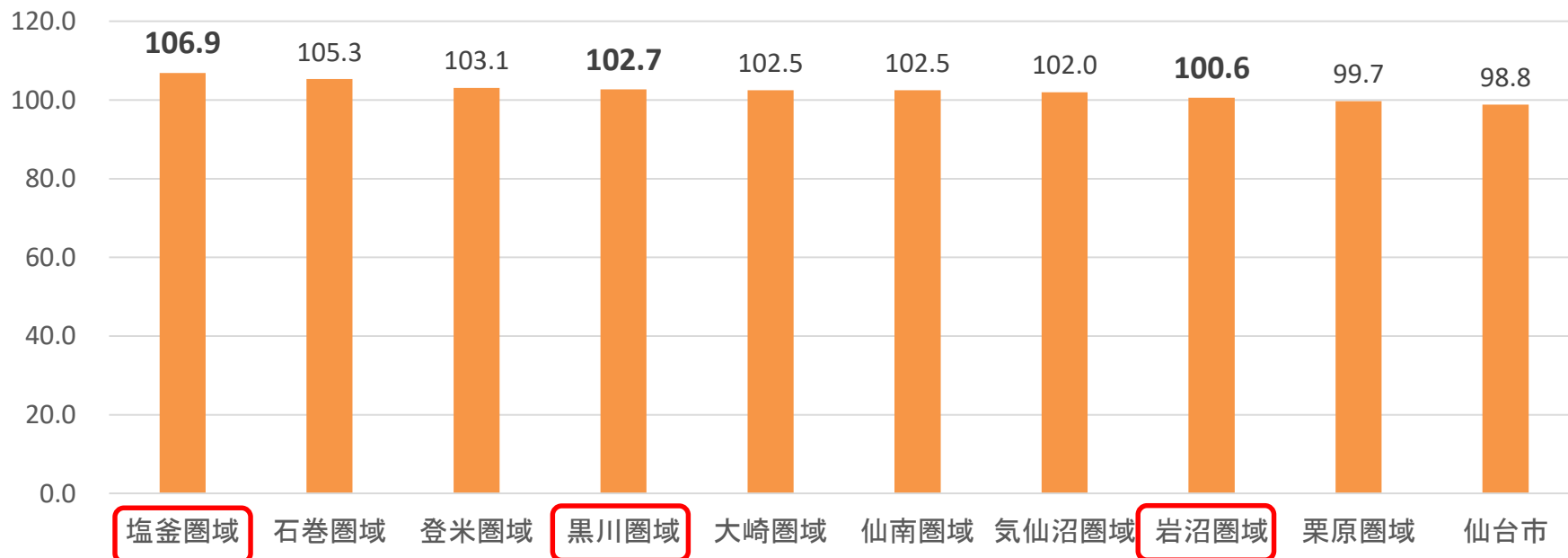
圏域	H27	H28	H29	H30	R1	R2
塩釜	6位 (97.41)	9位 (97.5)	10位 (97.5)	3位 (99.9)	2位 (101.9)	2位 (103.2)
岩沼	8位 (96.32)	7位 (98.0)	5位 (98.6)	2位 (100.1)	5位 (100.0)	4位 (102.0)
黒川	10位 (93.72)	10位 (97.3)	8位 (98.1)	6位 (98.9)	6位 (99.7)	10位 (98.3)

- ・塩釜圏域は、H30以降ワースト順位が上位を推移している。
- ・岩沼圏域は、動向に注意する必要がある。
- ・黒川圏域は、安定して100以下を推移している。

悪性新生物(女性)

圏域別標準化死亡比EBSMR(令和2年)

*EBSMR: 全国を100として相対値で表しており、100より大きい場合、全国平均と比べて出現割合が高いことを示している。



<圏域別標準化死亡比 県内ワースト順位の推移>

圏域	H27	H28	H29	H30	R1	R2
塩釜	1位 (102.28)	1位 (102.4)	3位 (101.4)	1位 (103.1)	1位 (104.2)	1位 (106.9)
岩沼	2位 (101.30)	2位 (100.7)	4位 (100.7)	10位 (99.2)	9位 (99.7)	8位 (100.6)
黒川	6位 (93.80)	5位 (98.5)	1位 (102.3)	2位 (102.1)	3位 (102.2)	4位 (102.7)

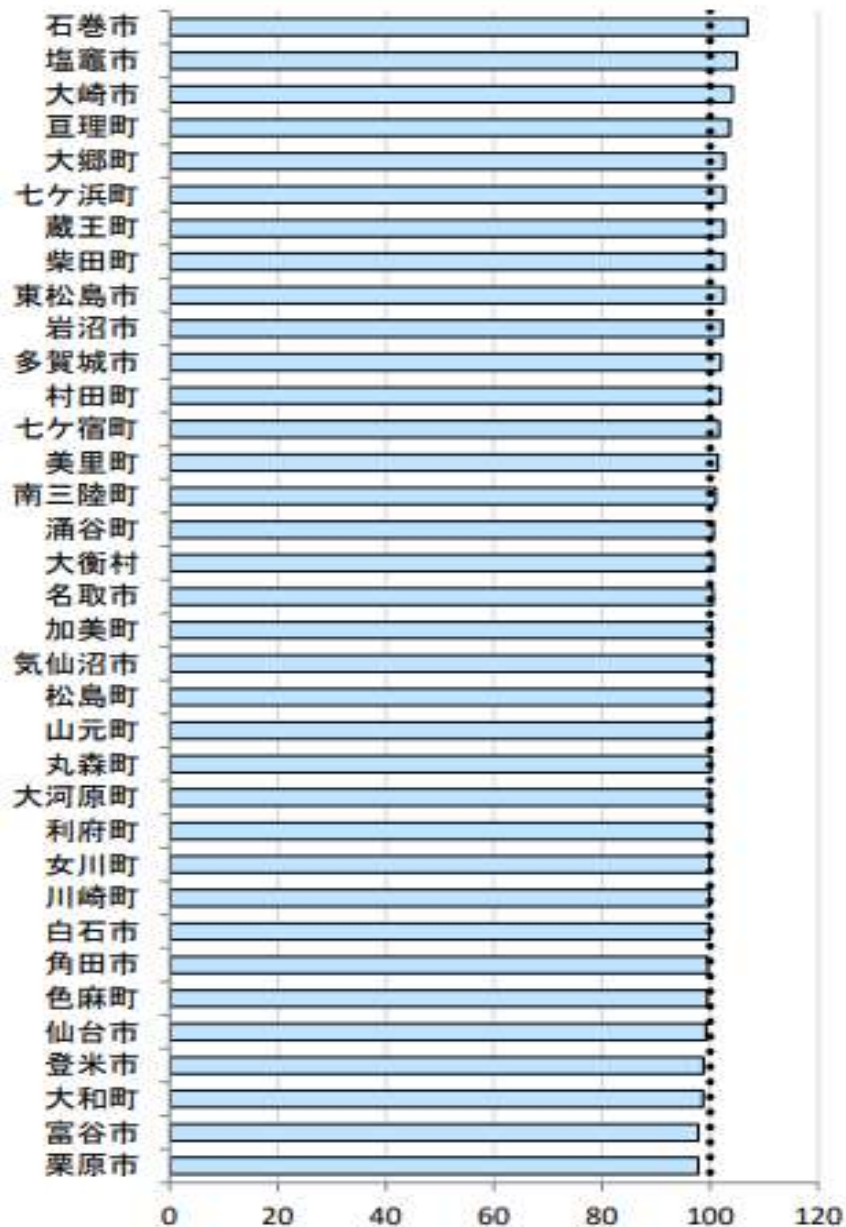
・塩釜圏域は、ワースト順位上位で推移している。

・岩沼圏域は、H30以降ワースト順位下位で推移しているが、動向に注意する必要がある。

・黒川圏域は、H29以降ワースト順位上位で推移しており、動向に注意する必要がある。

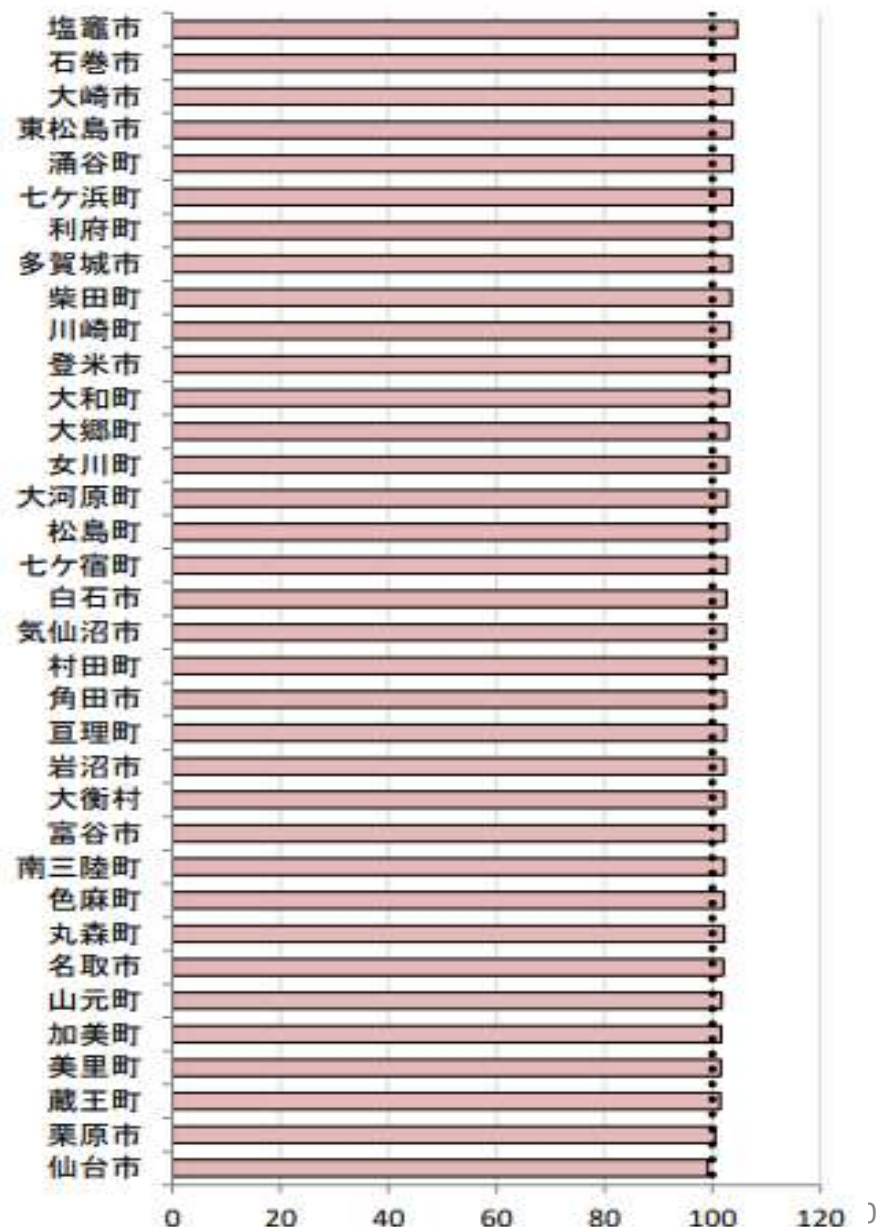
悪性新生物 市町村別標準化死亡比EBSMR(令和2年)

【男性】



【女性】

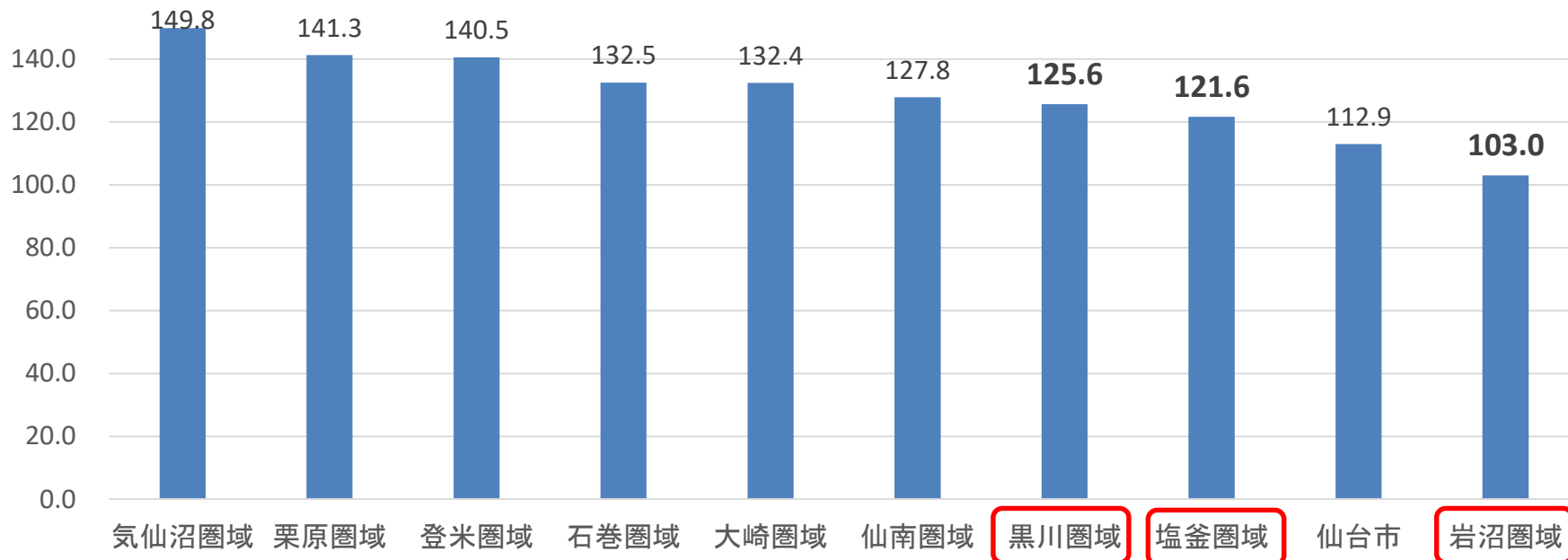
※点線:全国値



脳血管疾患(男性)

圏域別標準化死亡比EBSMR(令和2年)

*EBSMR: 全国を100として相対値で表しており、100より大きい場合、全国平均と比べて出現割合が高いことを示している。



<圏域別標準化死亡比 県内ワースト順位の推移>

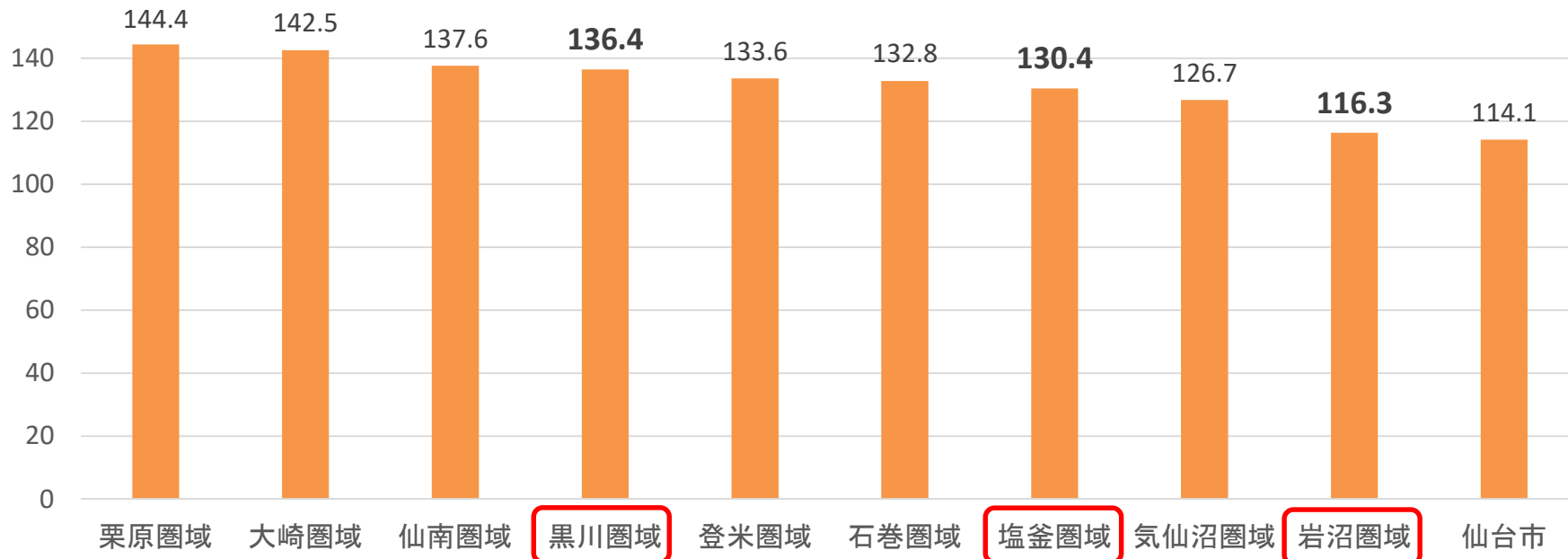
圏域	H27	H28	H29	H30	R1	R2
塩釜	4位 (122.87)	5位 (126.7)	7位 (126.5)	7位 (126.0)	8位 (115.6)	8位 (121.6)
岩沼	10位 (103.93)	10位 (100.5)	9位 (113.0)	9位 (113.9)	10位 (108.9)	10位 (103.0)
黒川	6位 (121.86)	2位 (131.3)	3位 (132.6)	4位 (132.4)	6位 (130.5)	7位 (125.6)

・県内全ての圏域で100を超えており、県内共通の課題である。

脳血管疾患(女性)

圏域別標準化死亡比EBSMR(令和2年)

*EBSMR: 全国を100として相対値で表しており、100より大きい場合、全国平均と比べて出現割合が高いことを示している。



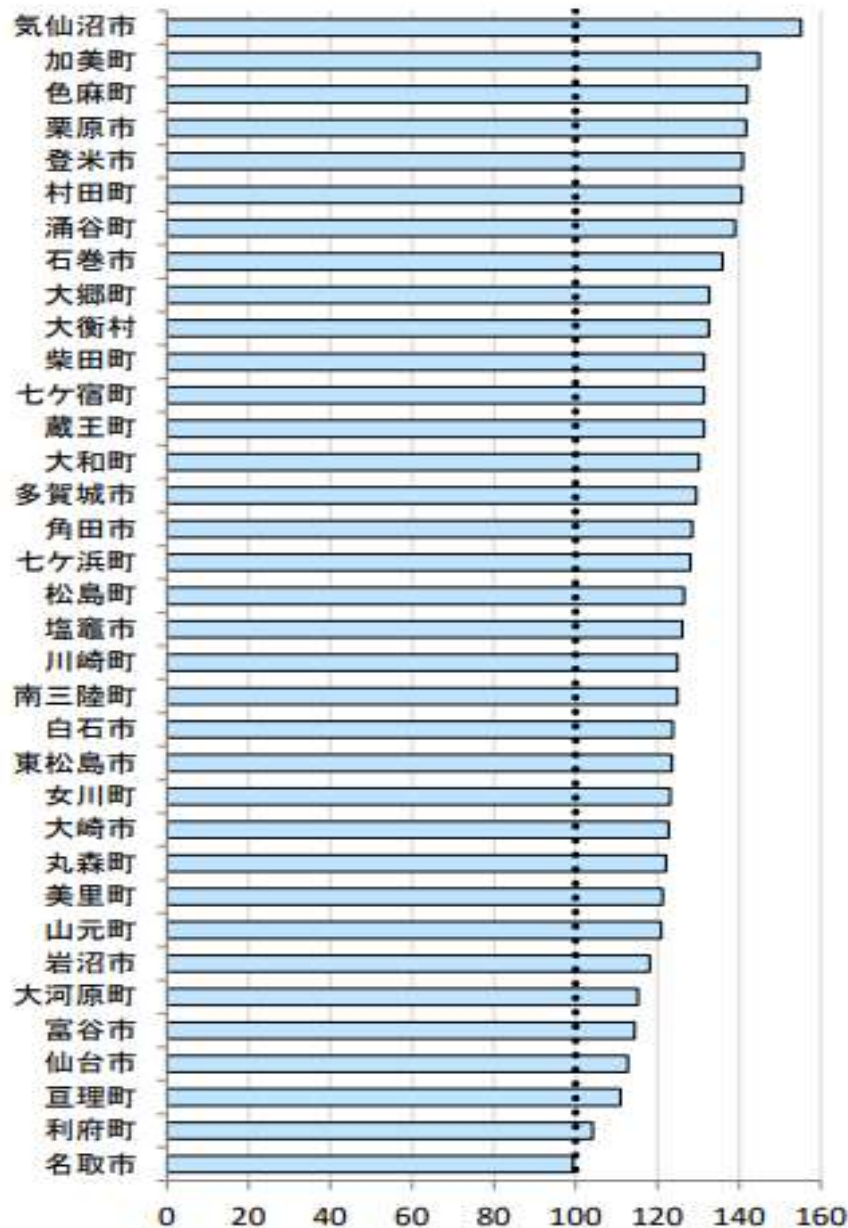
<圏域別標準化死亡比 県内ワースト順位の推移>

地区	H27	H28	H29	H30	R1	R2
塩釜	7位 (114.98)	6位 (113.5)	6位 (122.8)	7位 (126.2)	7位 (131.9)	7位 (130.4)
岩沼	9位 (109.46)	8位 (112.9)	10位 (110.3)	9位 (115.0)	9位 (116.3)	9位 (116.3)
黒川	1位 (130.80)	3位 (115.3)	1位 (131.9)	1位 (144.7)	1位 (149.4)	4位 (136.4)

・全ての圏域で100を超えており、県内共通の課題である。

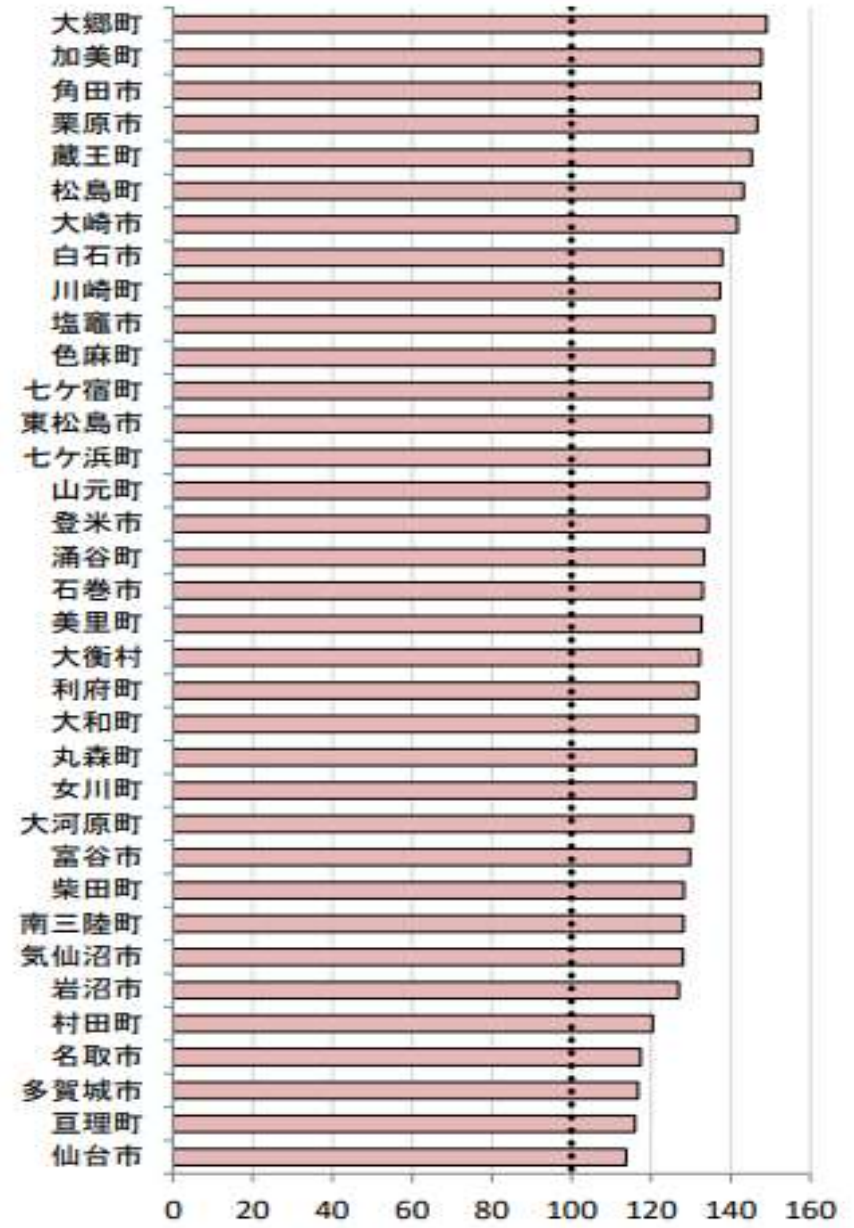
脳血管疾患 市町村別標準化死亡比EBSMR(令和2年)

【男性】



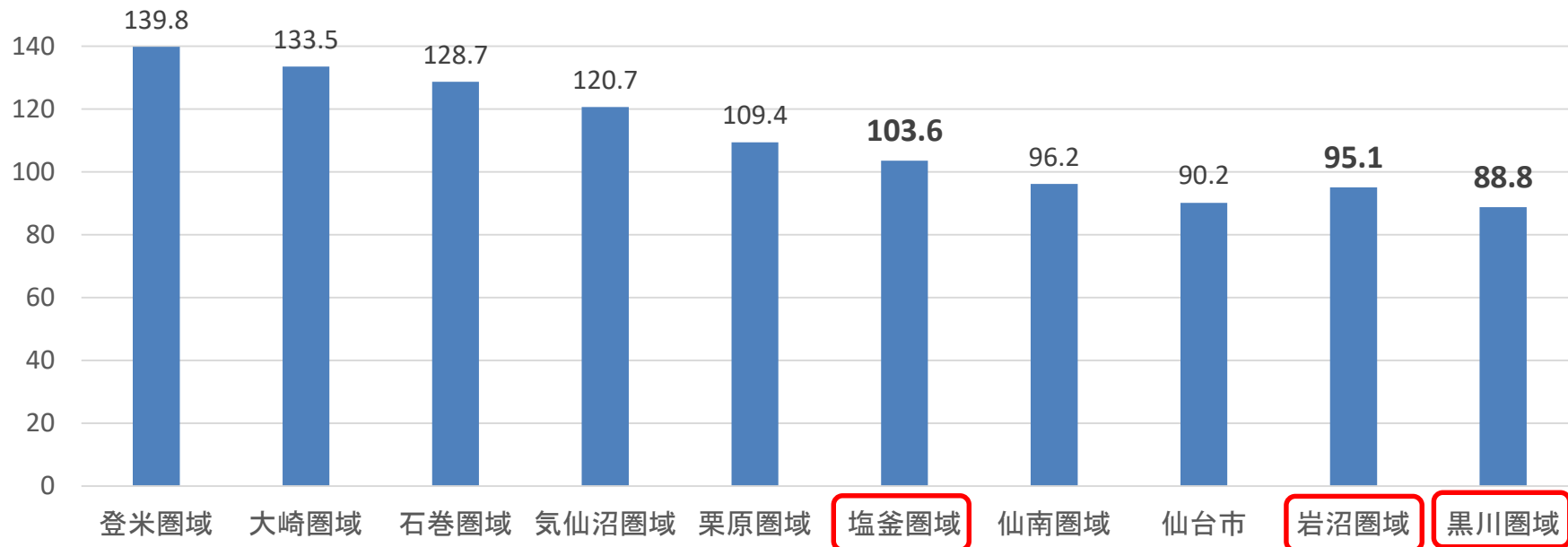
【女性】

※点線:全国値



心疾患（男性） 圏域別標準化死亡比EBSMR(令和2年)

*EBSMR: 全国を100として相対値で表しており、100より大きい場合、全国平均と比べて出現割合が高いことを示している。



<圏域別標準化死亡比 県内ワースト順位の推移>

地区	H27	H28	H29	H30	R1	R2
塩釜	5位 (108.83)	5位 (108.5)	5位 (106.0)	5位 (103.1)	5位 (106.3)	6位 (103.6)
岩沼	8位 (100.04)	8位 (99.1)	9位 (94.1)	9位 (96.4)	9位 (91.8)	8位 (95.1)
黒川	9位 (96.56)	10位 (93.3)	10位 (86.6)	10位 (90.0)	10位 (87.0)	10位 (88.8)

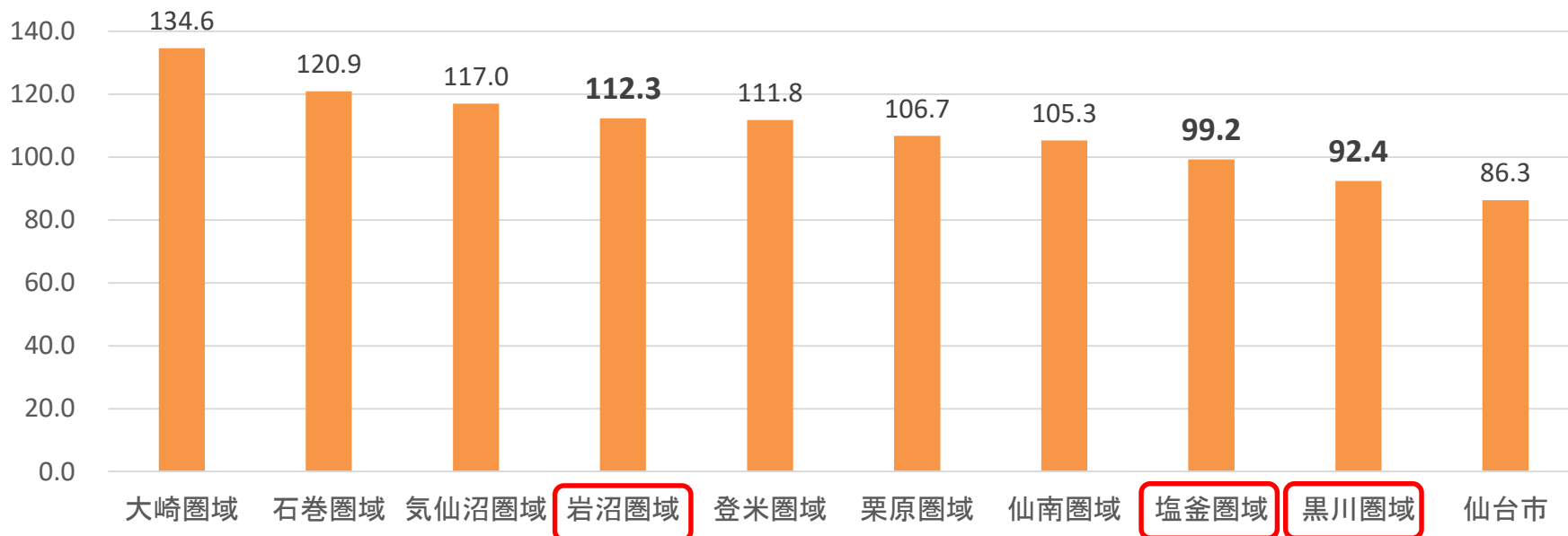
・塩釜圏域は、ワースト順位中位で推移しているが、100を超えており、動向に注意する必要がある。

・岩沼及び黒川圏域は、ワースト順位下位を推移しており、100を超えていない。

心疾患（女性）

圏域別標準化死亡比EBSMR（令和2年）

*EBSMR: 全国を100として相対値で表しており、100より大きい場合、全国平均と比べて出現割合が高いことを示している。



<圏域別標準化死亡比 県内ワースト順位の推移>

地区	H27	H28	H29	H30	R1	R2
塩釜	4位 (104.62)	4位 (104.1)	5位 (102.4)	7位 (98.9)	8位 (96.3)	8位 (99.2)
岩沼	9位 (101.30)	8位 (98.7)	4位 (104.7)	5位 (110.3)	5位 (111.7)	4位 (112.3)
黒川	7位 (93.80)	7位 (100.1)	8位 (97.4)	10位 (88.6)	9位 (91.0)	9位 (92.4)

・岩沼圏域は、ワースト順位中位であるが、H29以降100を超えて推移している。

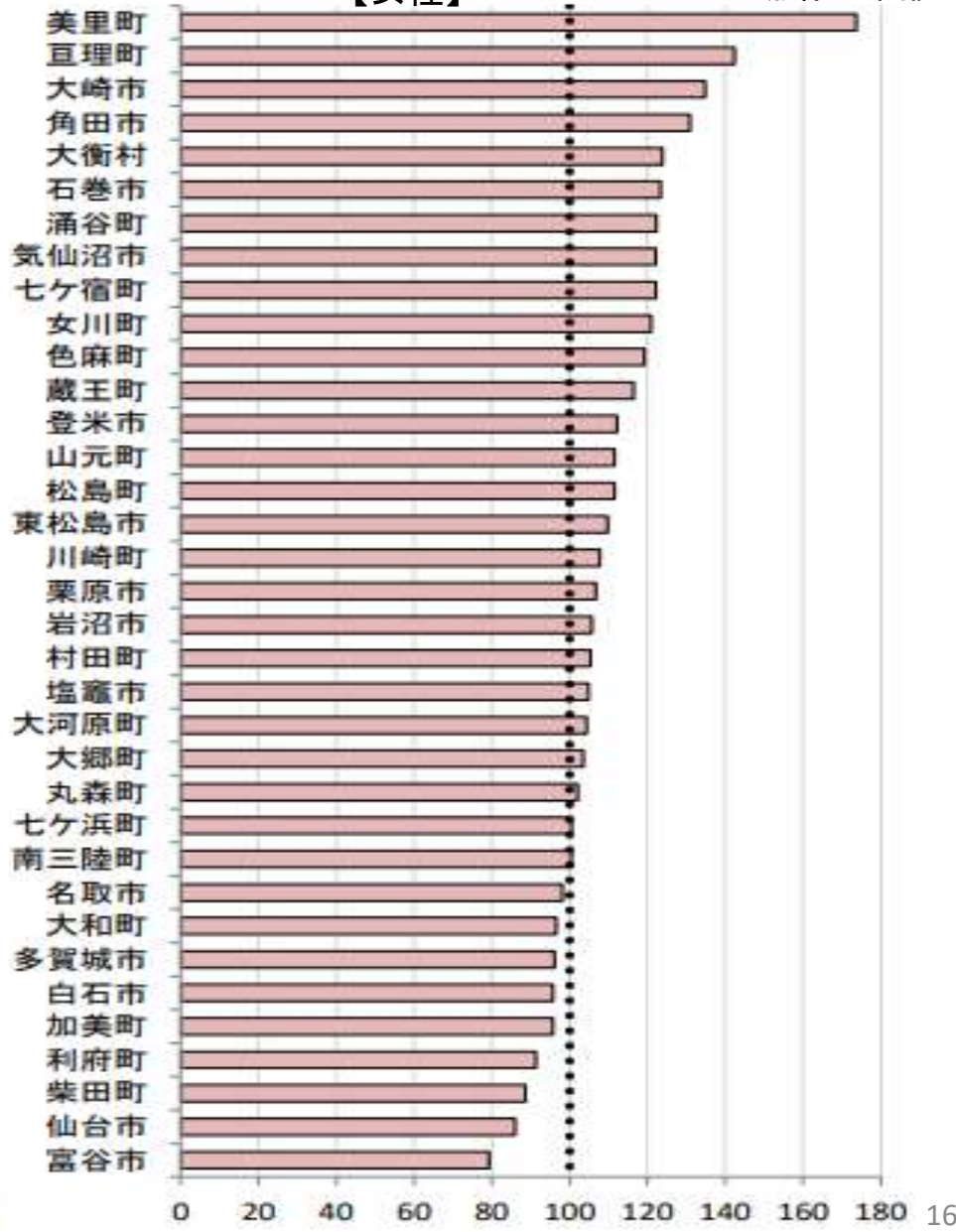
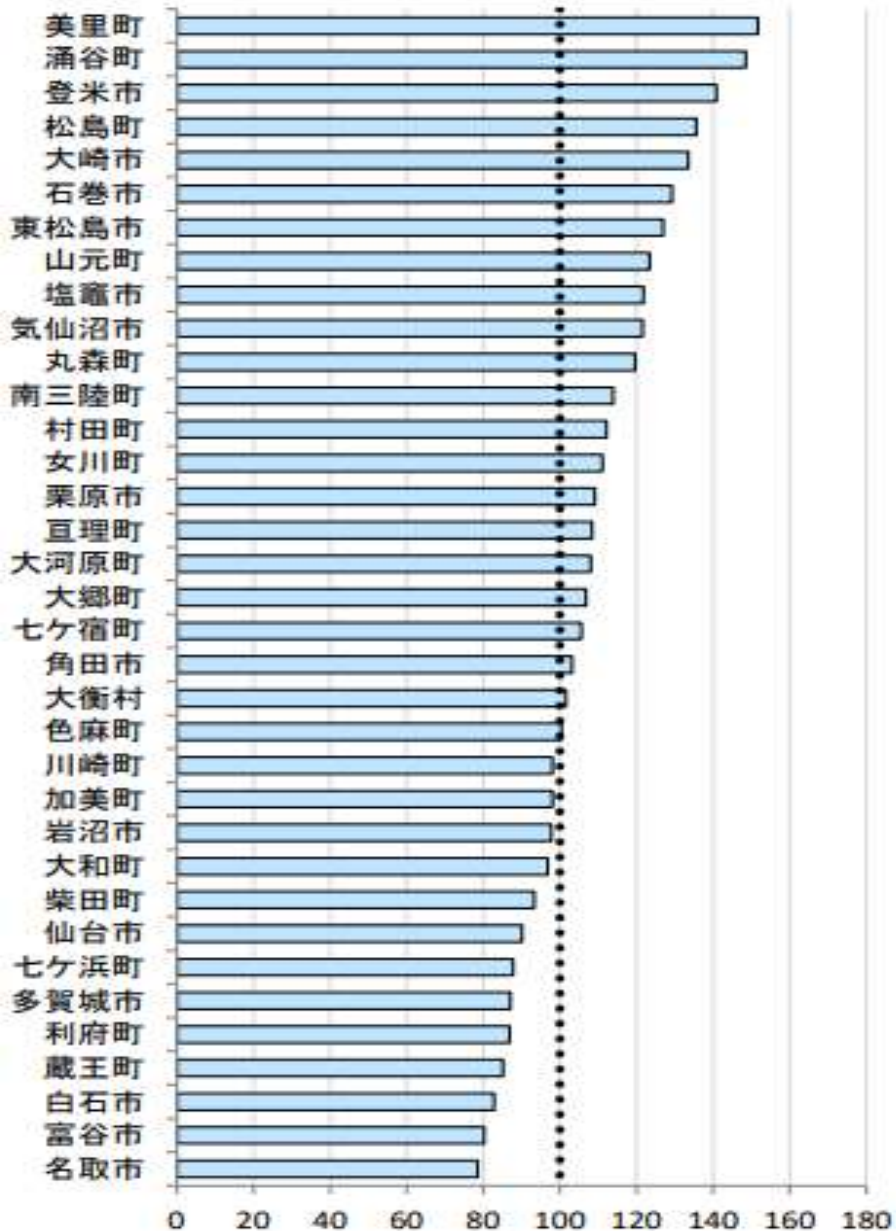
・塩釜及び黒川圏域は、ワースト順位下位を推移しており、100を超えていない。

心疾患 市町村別標準化死亡比EBSMR(令和2年)

【男性】

【女性】

※点線:全国値



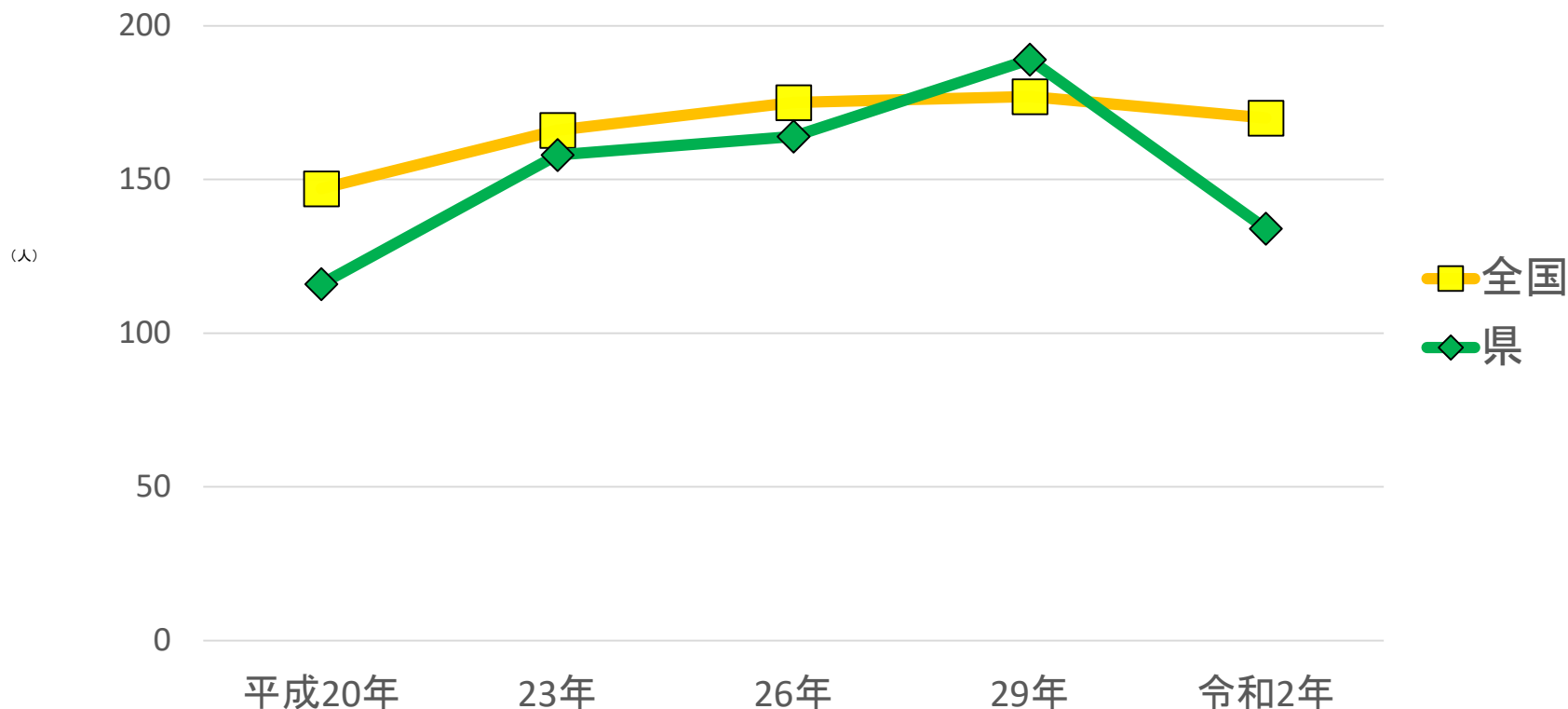
4 患者状況

①糖尿病受療率(県)

②人工透析患者数(圏域別)

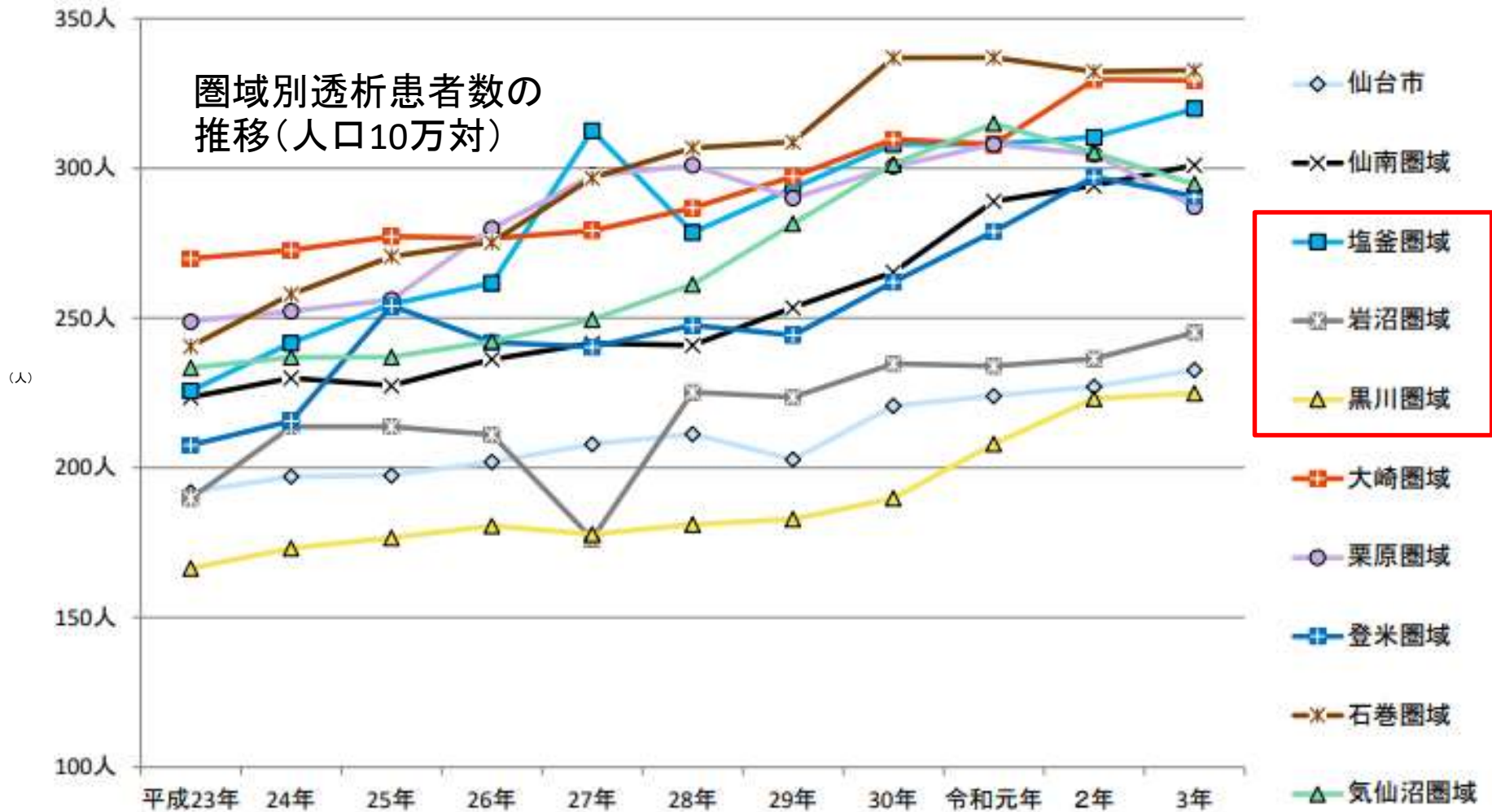
糖尿病受療率の推移(全国・県)

糖尿病受療率(外来:人口10万人対)



・県の糖尿病受療率は増加しており、平成29年は全国の受療率を上回った。

人工透析患者数の推移

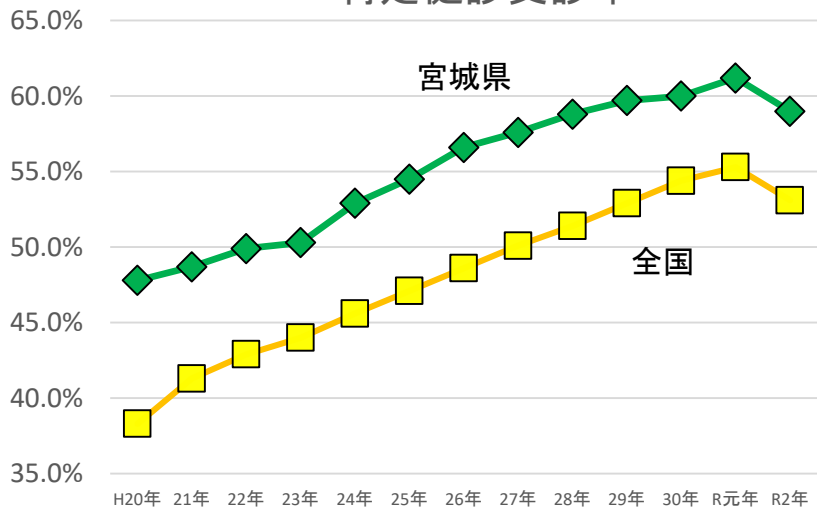


- ・透析患者数(人口10万対)は各圏域で増加傾向。
- ・令和3年の人工透析患者数は黒川圏域が最も少なく、岩沼圏域は3番目に少ない。塩釜圏域は、石巻圏域、大崎圏域に次いで3番目に多い。

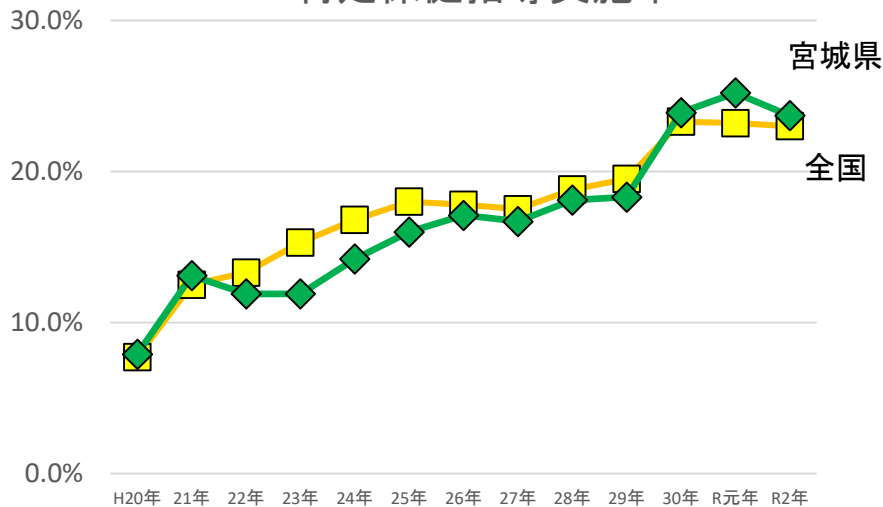
5 特定健診・特定保健指導の状況

特定健診受診率・特定保健指導実施率の推移

特定健診受診率



特定保健指導実施率

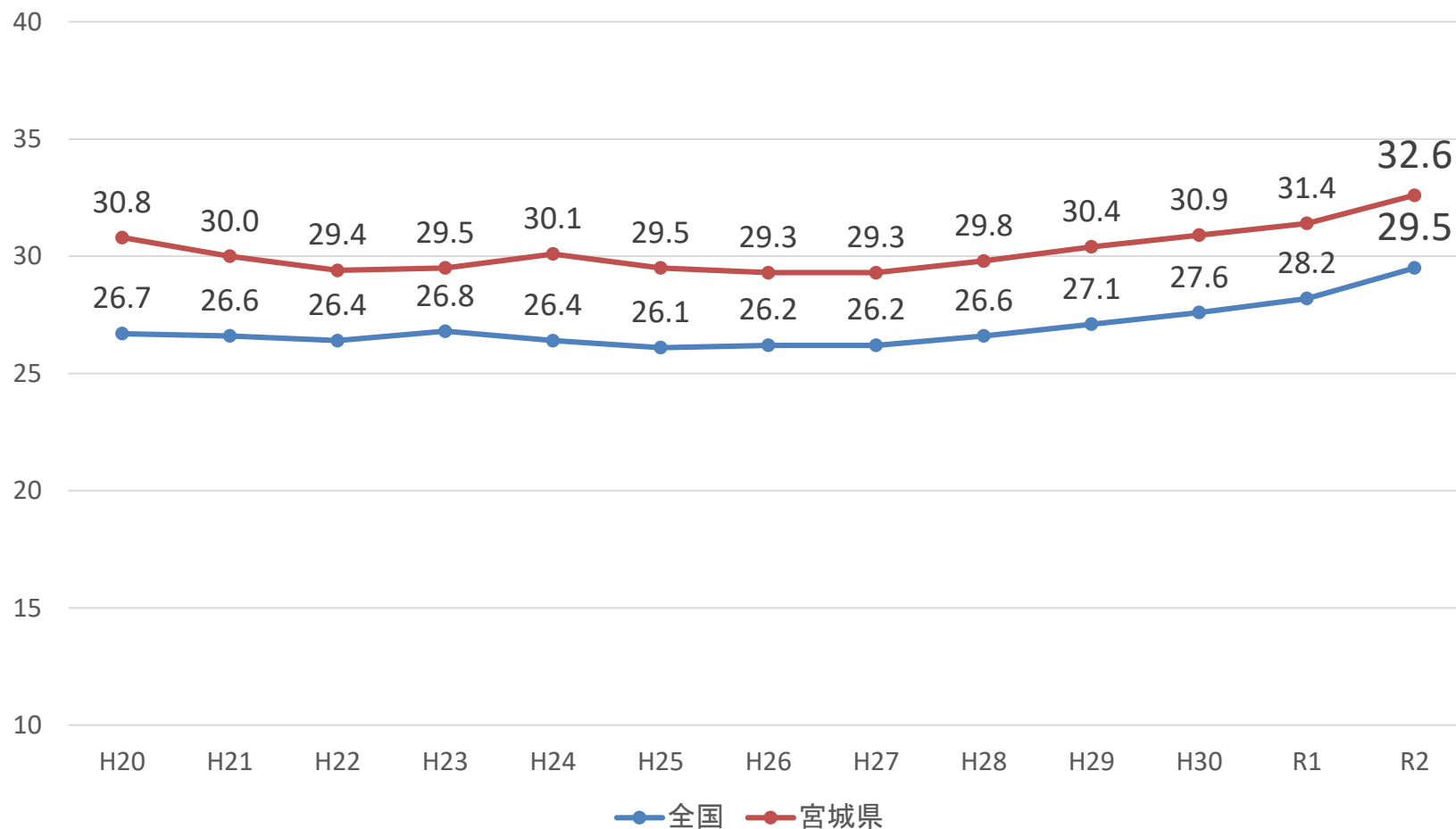


	全国	宮城県	順位
平成20年度	38.3%	47.8%	2
21年度	41.3%	48.7%	2
22年度	42.9%	49.9%	4
23年度	44.0%	50.3%	3
24年度	45.6%	52.9%	3
25年度	47.1%	54.5%	3
26年度	48.6%	56.6%	3
27年度	50.1%	57.6%	3
28年度	51.4%	58.8%	3
29年度	52.9%	59.7%	3
30年度	54.4%	60.0%	3
令和元年度	55.3%	61.2%	4
2年度	53.1%	59.0%	4

	全国	宮城県	順位
平成20年度	7.7%	7.9%	30
21年度	12.5%	13.1%	26
22年度	13.3%	11.9%	40
23年度	15.3%	11.9%	44
24年度	16.8%	14.2%	44
25年度	18.0%	16.0%	37
26年度	17.8%	17.1%	35
27年度	17.5%	16.7%	35
28年度	18.8%	18.1%	33
29年度	19.5%	18.3%	35
30年度	23.3%	23.9%	31
令和元年度	23.2%	25.2%	26
2年度	23.0%	23.7%	29

6 特定健診の状況（特定健診有所見者）

メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合の推移 (全国・県)



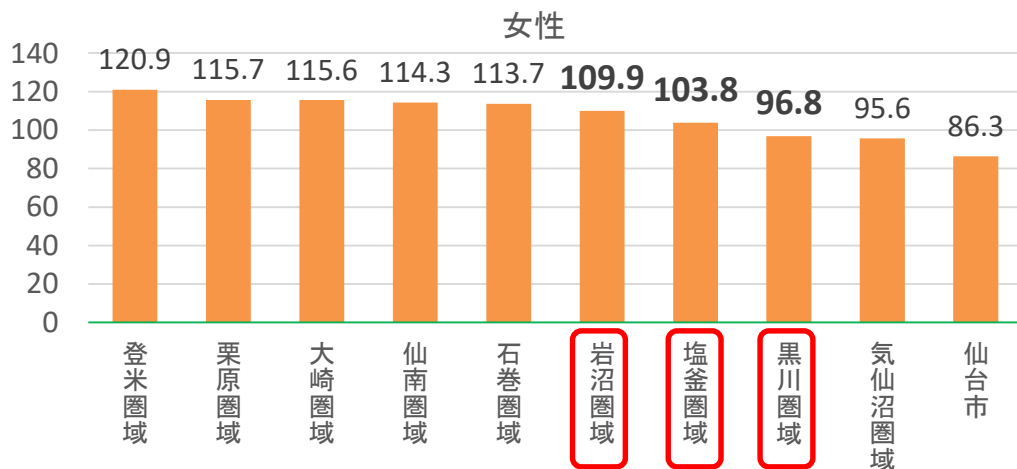
13年連続、全国ワースト3位以内。

特定健診有所見者 圏域別標準化該当比(令和2年度)

メタボリックシンドローム該当者

* 標準化該当比: 県を100として相対値で表しており、100より大きい場合、県平均と比べて出現割合が高いことを示している

* 赤字: 当所R4年度資料を修正した箇所



<圏域別標準化該当比 男性県内ワースト順位の推移>

圏域	H27	H28	H29	H30	R1	R2
塩釜	4位 (100.0)	5位 (99.9)	6位 (99.7)	4位 (101.3)	4位 (102.6)	5位 (102.5)
岩沼	8位 (98.3)	6位 (99.1)	5位 (100.0)	7位 (98.3)	6位 (100.4)	7位 (100.5)
黒川	7位 (98.5)	4位 (102.8)	4位 (101.0)	6位 (99.8)	3位 (103.7)	4位 (102.9)

・3圏域とも、県内ワースト中位～下位で推移している。

<圏域別標準化該当比 女性県内ワースト順位の推移>

圏域	H27	H28	H29	H30	R1	R2
塩釜	9位 (91.6)	9位 (90.8)	9位* (93.7)	8位 (94.0)	6位 (105.0)	7位 (103.8)
岩沼	6位 (101.8)	7位 (98.7)	4位* (109.1)	6位 (104.0)	7位 (104.6)	6位* (109.9)
黒川	8位 (94.0)	8位 (94.0)	8位 (93.7)	7位 (103.9)	5位 (105.4)	8位 (96.8)

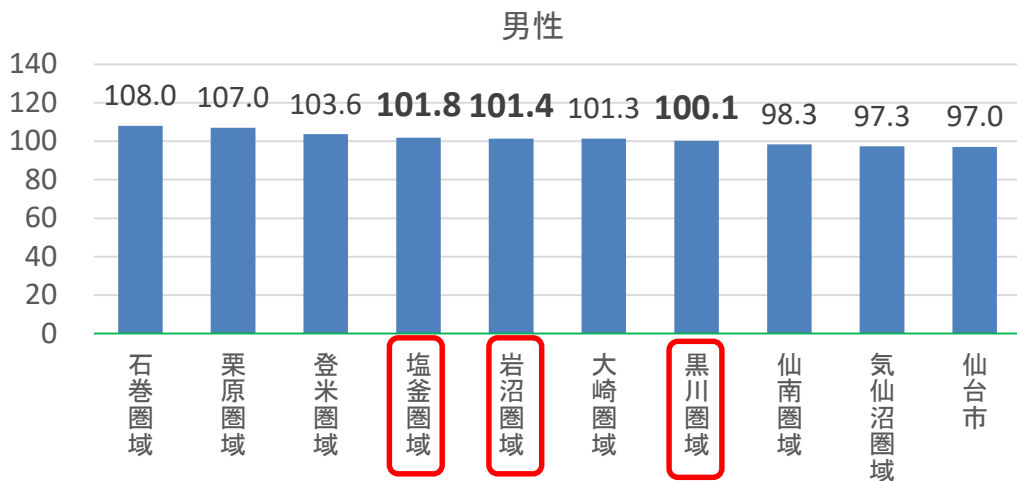
・3圏域とも、県内ワースト中位～下位で推移している。
(*):有意であったもの

メタボリックシンドローム該当者＋予備群

* 標準化該当比: 県を100として相対値で表しており、100より大きい場合、県平均と比べて出現割合が高いことを示している

* 赤字: 当所R4年度資料を修正した箇所

<圏域別標準化該当比 男性県内ワースト順位の推移>



圏域	H27	H28	H29	H30	R1	R2
塩釜	5位 (98.8)	7位 (98.5)	6位 (98.9)	5位 (100.1)	5位 (100.6)	4位 (101.8)
岩沼	3位 (100.3)	4位 (101.2)	4位 (101.3)	3位 (101.4)	6位 (100.6)	5位 (101.4)
黒川	9位 (96.6)	5位 (100.0)	5位 (99.3)	6位 (100.0)	4位 (100.8)	7位 (100.1)

・岩沼圏域はH27年以降、塩釜及び黒川圏域はH30年以降、100を超えて推移している。

<圏域別標準化該当比 女性県内ワースト順位の推移>



圏域	H27	H28	H29	H30	R1	R2
塩釜	8位 (96.3)	9位* (91.9)	9位* (99.2)	9位 (96.0)	8位 (103.2)	8位 (102.0)
岩沼	5位 (104.3)	6位 (103.7)	4位 (101.4)	5位 (105.9)	6位 (104.4)	6位* (106.5)
黒川	10位 (91.3)	8位 (95.9)	8位* (99.8)	6位 (104.5)	7位 (103.5)	9位 (99.6)

・岩沼圏域はH27年以降、100を超えて推移している。塩釜及び黒川地区は県内ワースト下位を推移している。(*) : 有意であったもの

特定健診有所見者 圏域別標準化該当比(令和2年度)

腹囲(男性:85cm 女性:90cm以上)

* 標準化該当比: 県を100として相対値で表しており、100より大きい場合、県平均と比べて出現割合が高いことを示している

* 赤字: 当所R4年度資料を修正した箇所

<圏域別標準化該当比 男性県内ワースト順位の推移>



圏域	H27	H28	H29	H30	R1	R2
塩釜	5位 (99.3)	7位 (98.3)	7位 (99.2)	5位 (100.1)	7位 (98.8)	9位 (99.1)
岩沼	3位 (100.8)	2位 (101.7)	3位 (101.4)	3位 (101.1)	6位 (100.0)	7位 (99.9)
黒川	9位 (97.7)	5位 (99.7)	5位 (99.8)	4位 (100.6)	4位 (101.1)	4位 (101.0)

- ・岩沼圏域のワースト順位は改善しているものの、100台で推移している。
- ・黒川地区は、H30以降100を超えている。

<圏域別標準化該当比 女性県内ワースト順位の推移>



圏域	H27	H28	H29	H30	R1	R2
塩釜	8位 (96.3)	9位* (92.8)	9位* (95.8)	9位 (96.0)	8位 (102.4)	9位 (89.6)
岩沼	5位 (104.0)	6位 (102.6)	4位* (107.1)	6位 (104.1)	6位 (103.6)	7位* (102.8)
黒川	9位 (94.7)	8位 (97.6)	8位 (99.6)	5位* (106.4)	7位 (103.3)	6位 (106.5)

- ・黒川圏域のワースト順位は下位だったが、H30以降100を超えている。

(*): 有意であったもの

特定健診有所見者 圏域別標準化該当比(令和2年度)

BMI(25以上)

* 標準化該当比: 県を100として相対値で表しており、100より大きい場合、県平均と比べて出現割合が高いことを示している

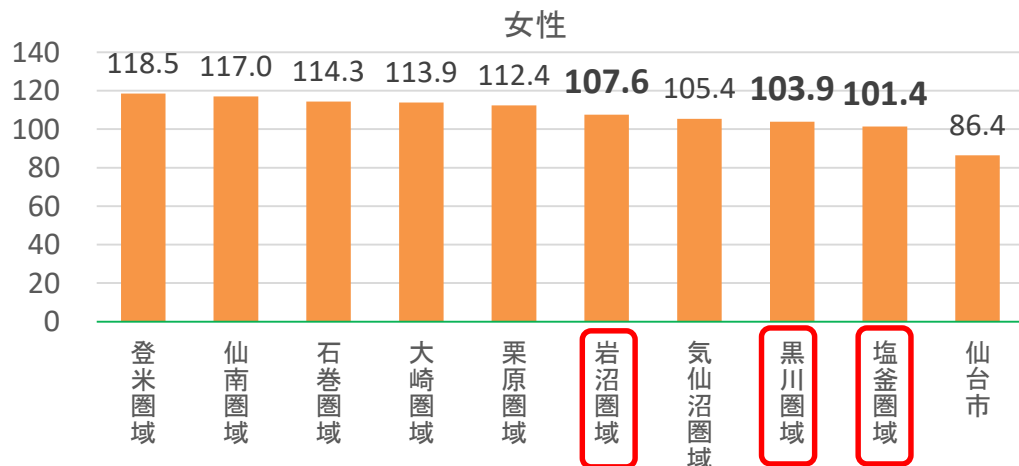
* 赤字: 当所R4年度資料を修正した箇所

<圏域別標準化該当比 男性県内ワースト順位の推移>



圏域	H27	H28	H29	H30	R1	R2
塩釜	7位 (99.1)	8位 (99.1)	8位 (98.2)	8位 (98.5)	8位 (98.5)	8位 (99.5)
岩沼	6位 (100.3)	4位 (101.4)	5位 (101.4)	6位 (101.1)	7位 (99.7)	7位 (99.8)
黒川	9位 (96.6)	7位 (99.4)	7位 (100.6)	7位 (99.9)	6位 (100.5)	6位 (96.7)

・いずれの圏域もワースト順位は下位を推移し、かつ100程度で推移している。



<圏域別標準化該当比 女性県内ワースト順位の推移>

圏域	H27	H28	H29	H30	R1	R2
塩釜	8位 (101.1)	9位 (100.9)	8位 (101.2)	9位 (101.7)	9位 (99.8)	9位 (101.4)
岩沼	6位 (106.2)	6位* (105.9)	5位* (106.7)	6位* (106.2)	8位 (100.7)	6位* (103.9)
黒川	9位 (97.8)	8位 (101.8)	9位 (100.9)	8位 (103.2)	6位 (101.7)	8位 (107.6)

・いずれの圏域もワースト順位は下位を推移しているが、100を超えて推移している。

(*): 有意であったもの

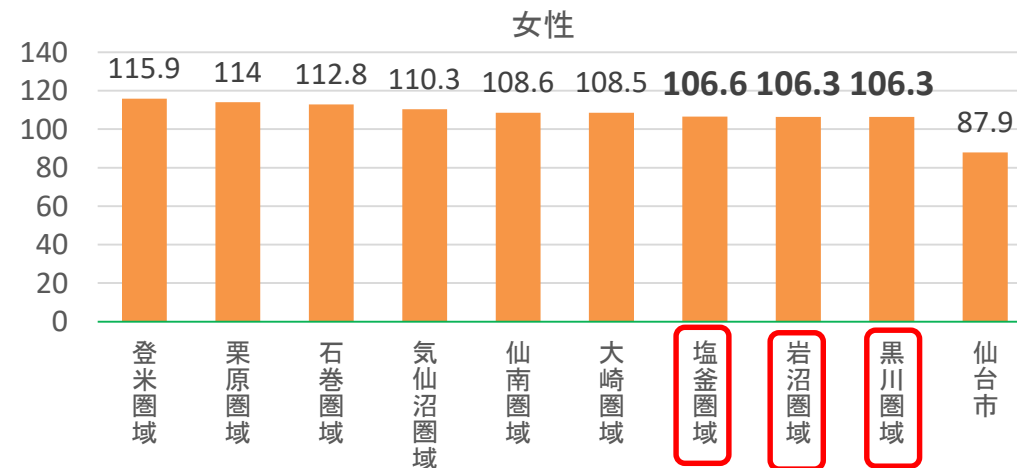
特定健診有所見者 圏域別標準化該当比(令和2年度)

血圧

(収縮期血圧130mmHg以上又は拡張期血圧85mmHg以上)

* 標準化該当比: 県を100として相対値で表しており、100より大きい場合、県平均と比べて出現割合が高いことを示している

* 赤字: 当所R4年度資料を修正した箇所



<圏域別標準化該当比 男性県内ワースト順位の推移>

圏域	H27	H28	H29	H30	R1	R2
塩釜	8位 (99.9)	9位* (97.7)	8位 (100.5)	5位* (103.5)	6位* (103.5)	7位* (103.3)
岩沼	6位 (100.8)	5位 (101.3)	6位 (100.8)	8位 (102.0)	7位* (103.5)	6位* (104.1)
黒川	9位 (97.2)	8位 (98.3)	9位 (97.1)	9位 (97.9)	9位 (99.2)	9位 (101.4)

・いずれの圏域もワースト順位は下位を推移しているが、100を超えて推移している。

(*): 有意であったもの

<圏域別標準化該当比 女性県内ワースト順位の推移>

圏域	H27	H28	H29	H30	R1	R2
塩釜	9位 (95.7)	9位* (93.6)	8位 (100.7)	7位* (106.2)	6位* (108.5)	7位* (106.6)
岩沼	7位 (102.3)	7位* (103.9)	7位 (101.3)	8位* (103.3)	8位* (103.8)	8位* (106.3)
黒川	8位 (98.1)	8位 (100.6)	9位 (96.6)	9位 (98.2)	9位 (100.4)	9位* (106.3)

・いずれの圏域もワースト順位は下位を推移しているが、100を超えて推移している。

(*): 有意であったもの

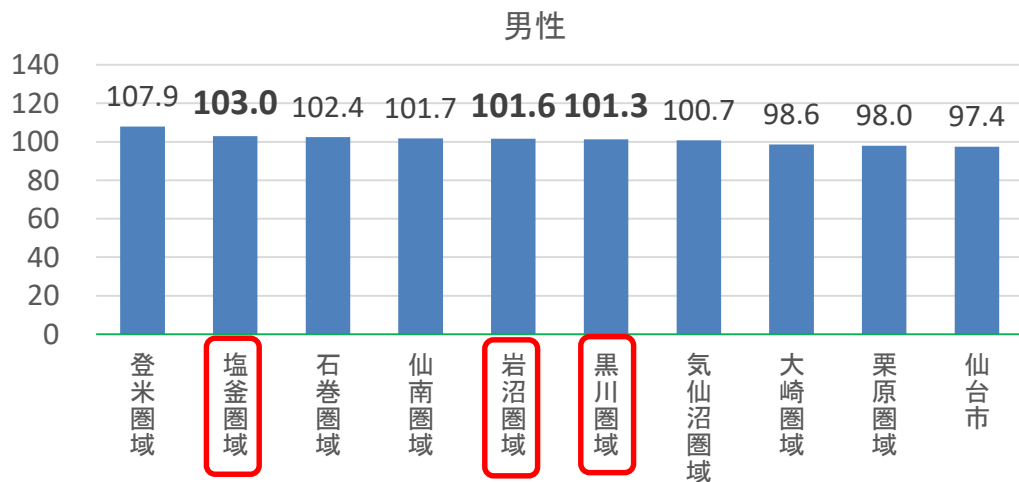
特定健診有所見者 圏域別標準化該当比(令和2年度)

血糖 (HbA1c 5.6%以上)

* 標準化該当比: 県を100として相対値で表しており、100より大きい場合、県平均と比べて出現割合が高いことを示している

* 赤字: 当所R4年度資料を修正した箇所

<圏域別標準化該当比 男性県内ワースト順位の推移>

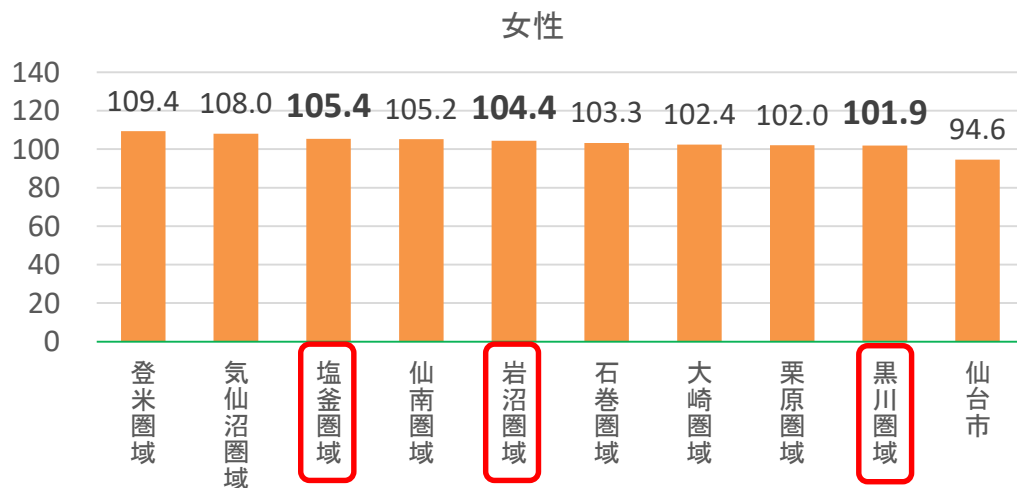


圏域	H27	H28	H29	H30	R1	R2
塩釜	9位 (89.2)	5位 (102.9)	5位* (104.8)	8位 (99.0)	3位* (104.8)	2位* (103.0)
岩沼	7位 (104.7)	6位 (101.7)	6位* (104.0)	2位* (106.5)	4位* (104.5)	5位 (101.6)
黒川	6位 (105.5)	2位* (111.4)	2位* (108.9)	3位* (104.8)	5位 (103.5)	6位 (101.3)

- ・塩釜圏域はR1以降100を超えて推移している。
- ・岩沼及び黒川圏域は100を超えて推移しているが、黒川地区は改善傾向もみられる。

(*): 有意であったもの

<圏域別標準化該当比 女性県内ワースト順位の推移>



圏域	H27	H28	H29	H30	R1	R2
塩釜	8位 (97.0)	7位* (105.2)	5位* (107.9)	8位 (97.8)	3位* (109.5)	3位* (105.4)
岩沼	3位 (108.2)	4位* (106.3)	4位* (108.0)	2位* (110.0)	6位* (107.6)	5位* (104.4)
黒川	2位 (112.3)	2位* (114.8)	2位* (114.6)	5位* (105.4)	5位* (107.7)	9位 (101.9)

- ・塩釜圏域はR1以降100を超えて推移している。
- ・岩沼及び黒川圏域は100を超えて推移しているが、黒川地区は改善傾向もみられる。

(*): 有意であったもの

特定健診有所見者 圏域別標準化該当比(令和2年度)

脂質(中性脂肪 150mg/dl以上)

* 標準化該当比: 県を100として相対値で表しており、100より大きい場合、県平均と比べて出現割合が高いことを示している

* 赤字: 当所R4年度資料を修正した箇所



<圏域別標準化該当比 男性県内ワースト順位の推移>

圏域	H27	H28	H29	H30	R1	R2
塩釜	3位 (102.1)	3位 (102.6)	4位 (101.4)	5位 (100.3)	3位 (101.9)	4位* (103.8)
岩沼	9位 (97.9)	8位 (98.3)	7位 (99.0)	8位 (98.2)	8位* (96.6)	8位 (98.0)
黒川	8位 (98.2)	6位 (99.9)	9位 (97.3)	9位 (97.4)	5位 (100.2)	7位 (98.4)

・塩釜圏域が管内で最も高く、岩沼及び黒川圏域は100を下回って推移している。

(*):有意であったもの

<圏域別標準化該当比 女性県内ワースト順位の推移>

圏域	H27	H28	H29	H30	R1	R2
塩釜	4位 (103.4)	5位 (104.9)	7位 (101.7)	7位 (97.3)	7位 (99.1)	6位 (104.4)
岩沼	6位 (102.4)	8位 (97.8)	8位 (98.2)	8位 (97.3)	6位 (99.3)	7位 (96.7)
黒川	7位 (101.5)	7位 (102.6)	5位 (106.3)	4位* (107.4)	3位* (108.8)	5位 (104.4)

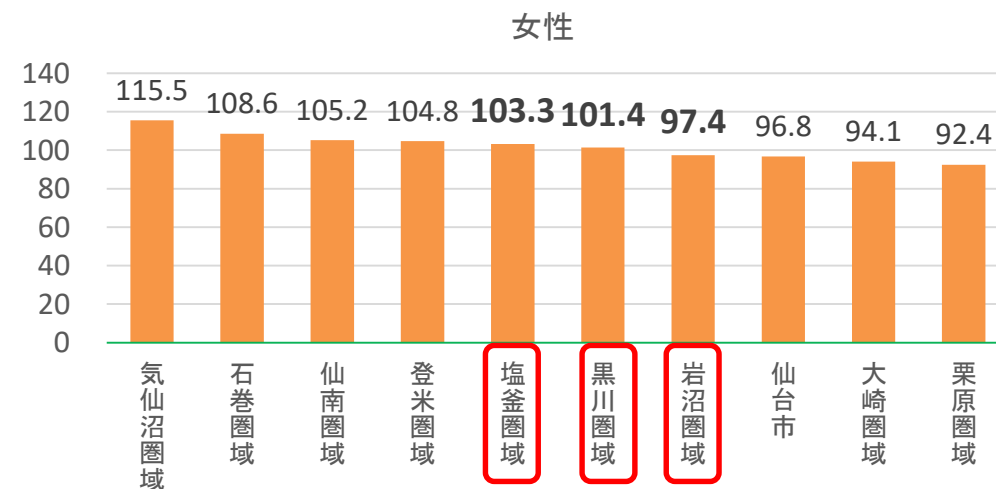
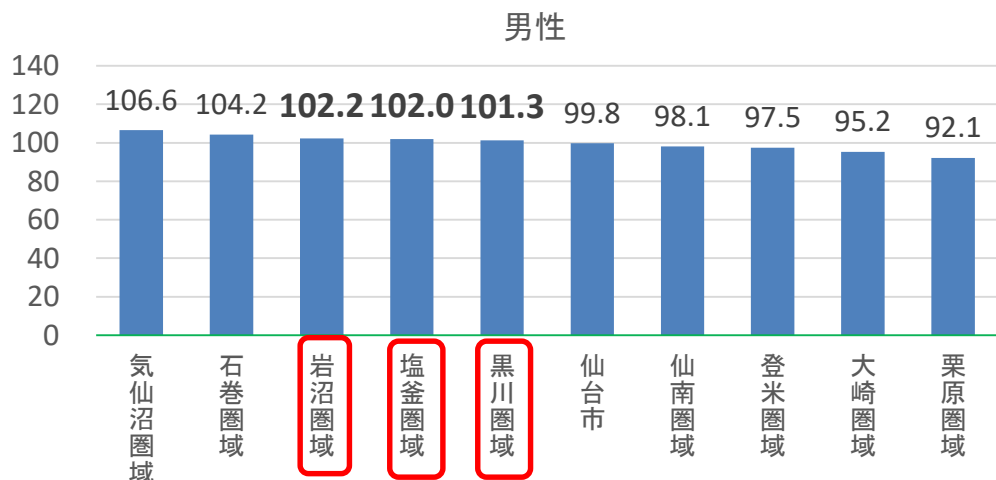
・黒川圏域が管内で最も高く、塩釜及び岩沼圏域は下位で推移している。 (*):有意であったもの

特定健診有所見者 圏域別標準化該当比(令和2年度)

脂質 (LDLコレステロール 140mg/dl以上)

* 標準化該当比: 県を100として相対値で表しており、100より大きい場合、県平均と比べて出現割合が高いことを示している

* 赤字: 当所R4年度資料を修正した箇所



<圏域別標準化該当比 男性県内ワースト順位の推移>

圏域	H27	H28	H29	H30	R1	R2
塩釜	1位 (107.9)	2位* (106.3)	1位* (109.1)	2位* (104.7)	1位* (105.1)	4位 (102.0)
岩沼	3位 (104.8)	3位* (104.6)	2位* (103.6)	3位 (103.3)	5位 (101.2)	3位 (102.2)
黒川	7位 (99.8)	7位 (100.8)	7位 (98.9)	7位 (99.4)	2位 (101.4)	5位 (101.3)

・塩釜及び岩沼圏域は、ワースト上位で推移している。黒川圏域は動向に注意する必要がある。
 (*):有意であったもの

<圏域別標準化該当比 女性県内ワースト順位の推移>

圏域	H27	H28	H29	H30	R1	R2
塩釜	3位 (107.8)	6位* (105.7)	1位* (111.9)	6位 (102.1)	1位* (111.3)	5位* (103.3)
岩沼	4位 (105.4)	3位* (107.4)	6位 (103.4)	5位* (104.1)	6位 (101.7)	7位 (97.4)
黒川	5位 (104.8)	5位* (105.9)	7位 (96.3)	7位 (99.2)	5位 (104.1)	6位 (101.4)

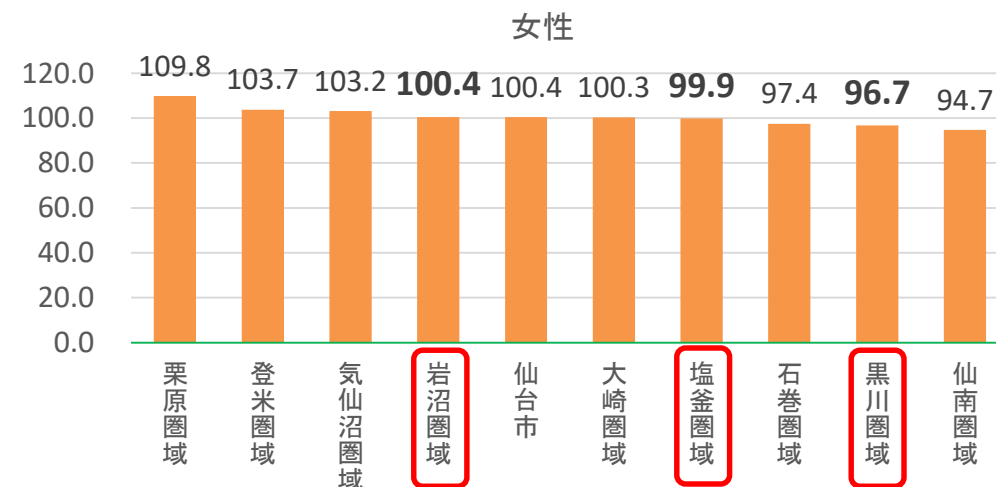
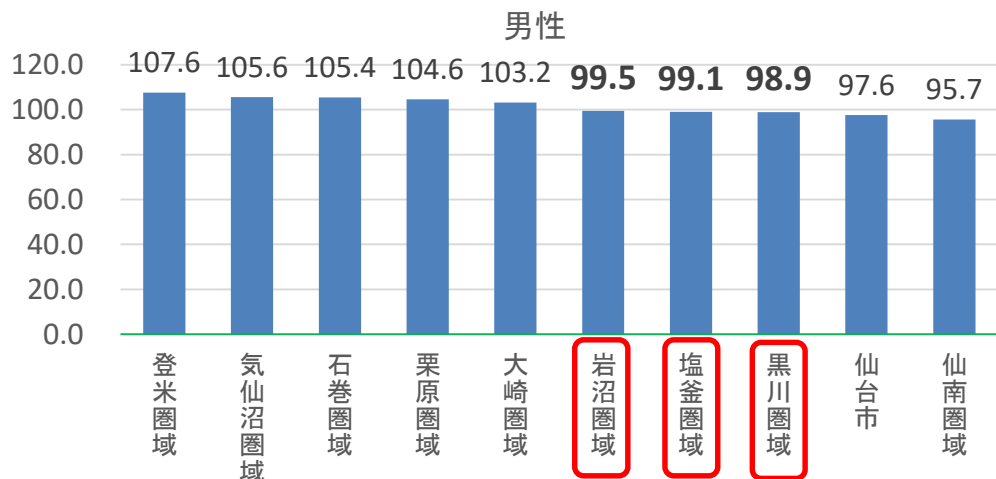
・塩釜圏域はワースト上位で推移している。
 ・岩沼及び黒川圏域は動向に注意する必要がある。
 (*):有意であったもの

特定健診有所見者 圏域別標準化該当比(令和2年度)

肝機能 (γ-GTP 51IU/L以上)

* 標準化該当比: 県を100として相対値で表しており、100より大きい場合、県平均と比べて出現割合が高いことを示している

* 赤字: 当所R4年度資料を修正した箇所



<圏域別標準化該当比 男性県内ワースト順位の推移>

圏域	H27	H28	H29	H30	R1	R2
塩釜	-	5位 (99.8)	5位 (99.1)	7位 (97.8)	5位 (99.7)	7位 (99.1)
岩沼	-	6位 (98.6)	7位 (98.5)	5位 (99.9)	8位 (97.1)	6位 (99.5)
黒川	-	10位 (95.1)	10位 (96.5)	8位 (97.6)	7位 (98.6)	8位 (98.9)

・3圏域とも、県内ワースト中位～下位で推移しており、100を下回っている。

<圏域別標準化該当比 女性県内ワースト順位の推移>

圏域	H27	H28	H29	H30	R1	R2
塩釜	-	6位 (98.3)	6位 (98.5)	8位 (97.7)	1位 (101.8)	7位 (99.9)
岩沼	-	9位 (92.0)	9位 (94.1)	6位 (98.4)	4位 (99.1)	4位 (100.4)
黒川	-	10位 (84.3)	10位* (87.5)	9位 (91.9)	10位 (92.1)	9位 (96.7)

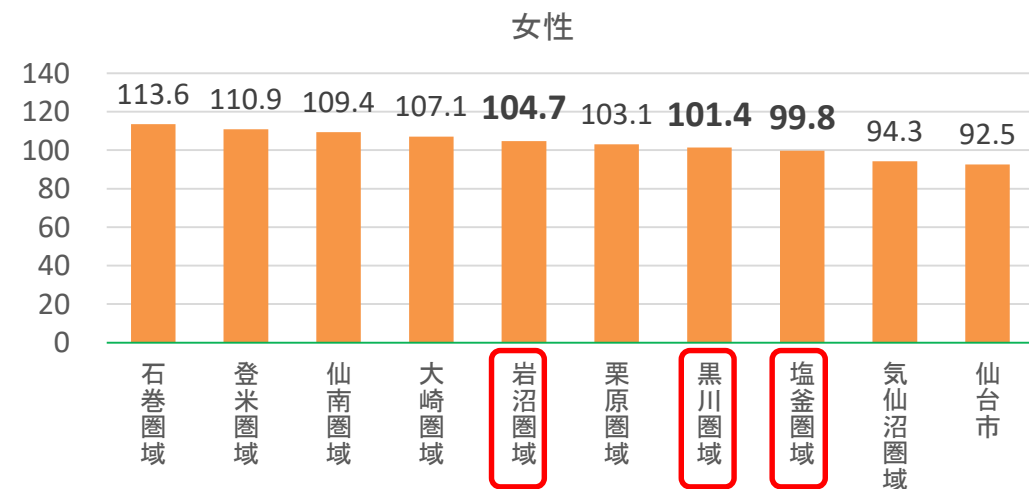
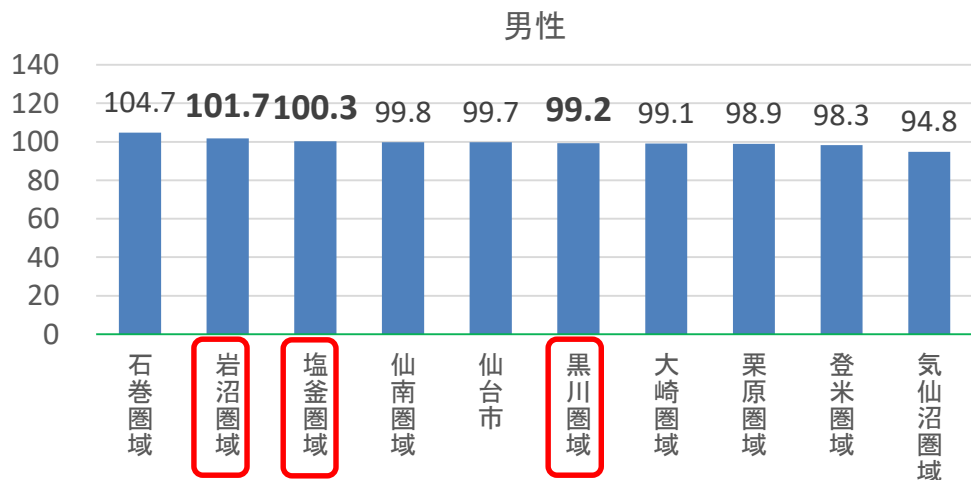
・岩沼圏域は順位が上昇傾向にあり、黒川圏域は下位で推移していた。

・塩釜圏域は動向を注視する必要がある。

7 生活習慣の状況 (特定健診質問票)

体重(20歳の時の体重から10kg以上増加している)

*標準化該当比: 県を100として相対値で表しており、100より大きい場合、県平均と比べて出現割合が高いことを示している。



<圏域別標準化該当比 男性県内ワースト順位の推移>

圏域	H27	H28	H29	H30	R1	R2
塩釜	3位 (103.9)	5位 (99.7)	4位 (100.3)	5位 (99.7)	7位 (99.4)	3位 (100.3)
岩沼	4位 (103.8)	2位 (101.6)	2位 (101.3)	2位 (101.5)	3位 (100.3)	2位 (101.7)
黒川	6位 (100.7)	6位 (99.2)	7位 (99.3)	7位 (99.1)	2位 (101.7)	6位 (99.2)

・圏域の差がほぼないため順位が上下すると考えられるが、岩沼圏域は概ね上位で推移している。

<圏域別標準化該当比 女性県内ワースト順位の推移>

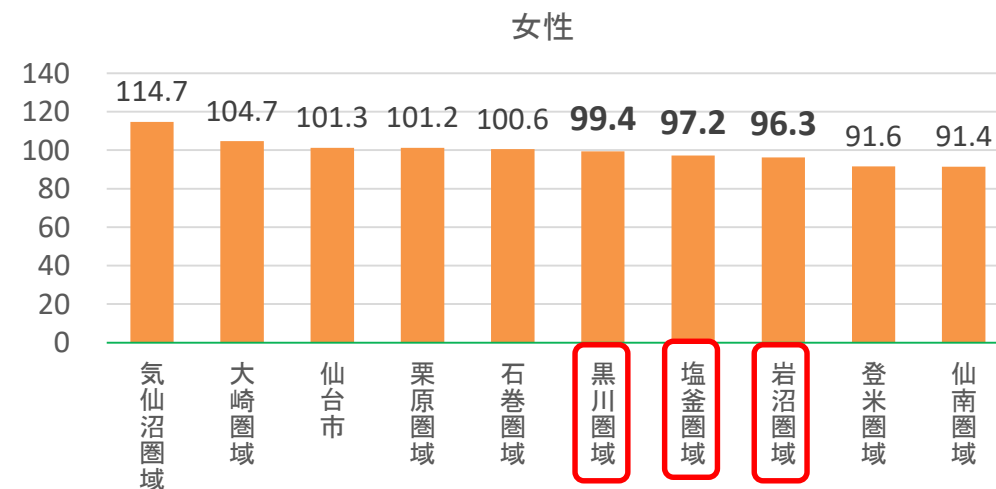
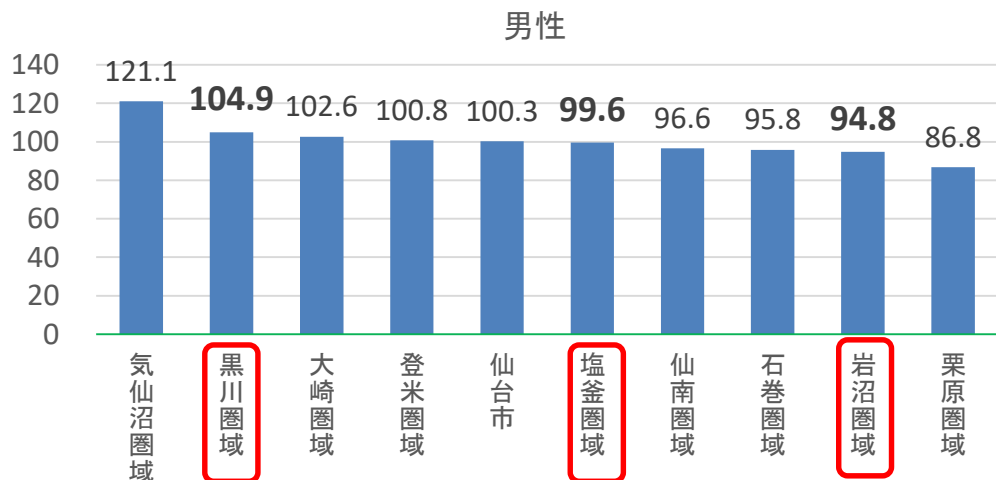
圏域	H27	H28	H29	H30	R1	R2
塩釜	7位 (104.6)	7位 (101.0)	8位 (100.9)	9位 (100.2)	9位 (101.7)	8位 (99.8)
岩沼	6位 (105.2)	6位 (102.3)	7位* (101.7)	7位 (101.9)	6位 (102.4)	5位* (104.7)
黒川	8位 (100.3)	8位 (100.3)	9位 (98.1)	6位 (102.5)	8位 (101.9)	8位 (101.4)

・3圏域ともに、比較的ワースト下位で推移している。 (*):有意であったもの

特定健診質問票 圏域別標準化該当比(令和2年度)

間食 (3食以外に間食や甘い飲み物を毎日摂取している)

*標準化該当比: 県を100として相対値で表しており、100より大きい場合、県平均と比べて出現割合が高いことを示している。



<圏域別標準化該当比 男性県内ワースト順位の推移>

圏域	H27	H28	H29	H30	R1	R2
塩釜	3位 (107.5)	4位 (101.0)	5位 (101.0)	5位 (99.9)	7位 (97.8)	6位 (99.6)
岩沼	4位 (105.8)	7位 (98.7)	8位* (99.1)	10位 (93.1)	10位* (92.7)	9位 (94.8)
黒川	9位 (96.9)	9位 (95.4)	7位 (99.1)	6位 (99.6)	8位 (97.2)	2位 (104.9)

・塩釜及び岩沼圏域は改善傾向がみられるが、黒川圏域はR2に100を超え、動向に注意する必要がある。 (*):有意であったもの

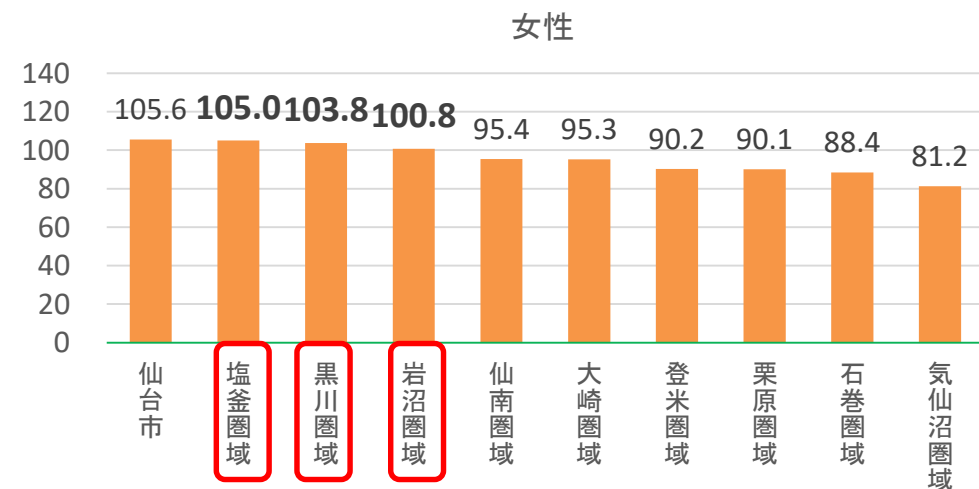
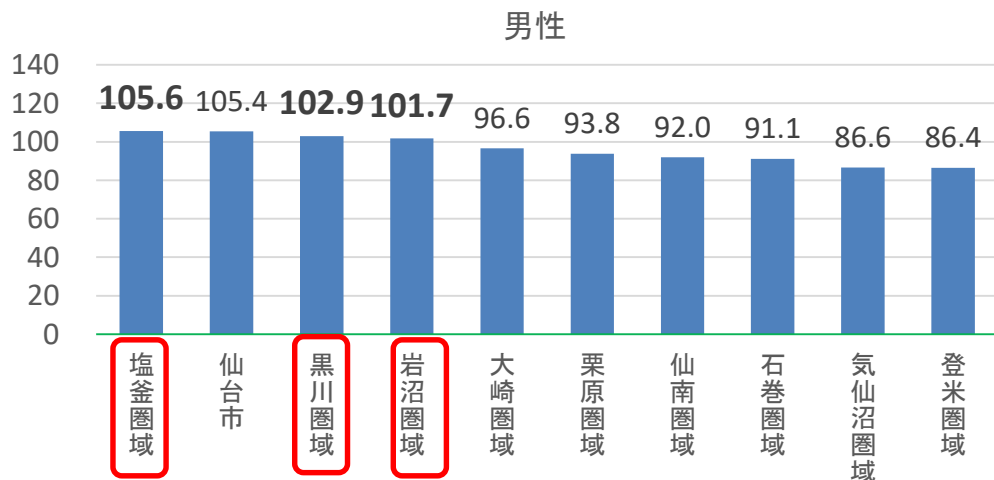
<圏域別標準化該当比 女性県内ワースト順位の推移>

圏域	H27	H28	H29	H30	R1	R2
塩釜	6位 (112.0)	6位* (106.6)	6位* (108.1)	6位 (98.2)	7位 (98.2)	7位 (97.2)
岩沼	4位 (113.6)	8位 (104.6)	8位 (102.2)	7位 (97.6)	6位 (99.0)	8位 (96.3)
黒川	8位 (105.3)	7位 (105.1)	9位 (100.8)	8位* (94.5)	8位 (97.7)	6位 (99.4)

・3圏域とも、H30以降100を切り、ワースト下位で推移している。 (*):有意であったもの

食事時間 (就寝前2時間以内に夕食を取ることが週3回以上ある)

*標準化該当比: 県を100として相対値で表しており、100より大きい場合、県平均と比べて出現割合が高いことを示している。



<圏域別標準化該当比 男性県内ワースト順位の推移>

圏域	H27	H28	H29	H30	R1	R2
塩釜	3位 (108.9)	4位* (103.2)	3位 (102.1)	3位* (103.9)	2位* (104.6)	1位* (105.6)
岩沼	6位 (99.0)	7位* (96.2)	4位 (101.0)	4位 (101.8)	4位 (100.4)	4位 (101.7)
黒川	1位 (114.9)	1位* (112.8)	1位* (109.6)	2位* (104.9)	3位* (103.9)	3位 (102.9)

・3圏域ともにワースト上位で推移している。
(*):有意であったもの

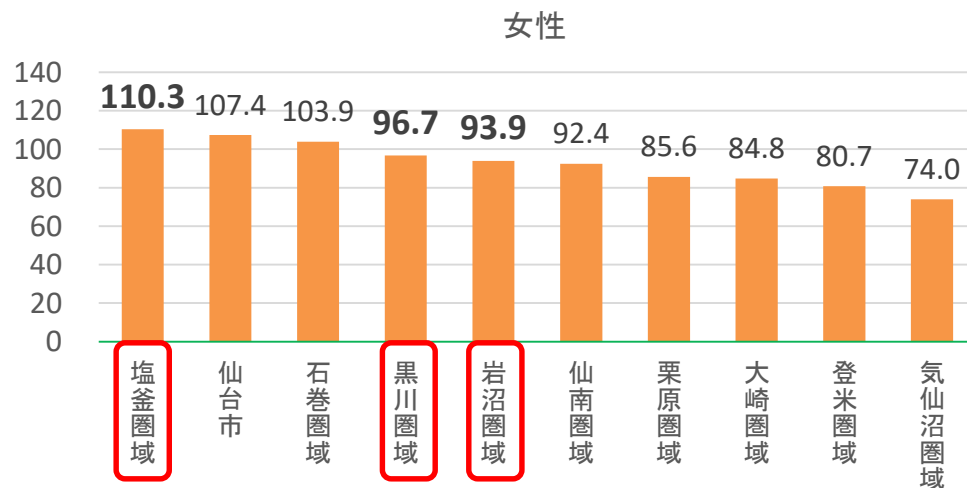
<圏域別標準化該当比 女性県内ワースト順位の推移>

圏域	H27	H28	H29	H30	R1	R2
塩釜	5位 (102.4)	6位 (98.6)	6位 (98.7)	4位 (102.9)	4位 (100.2)	2位* (105.0)
岩沼	9位 (87.6)	9位 (82.1)	5位 (100.7)	6位 (97.9)	6位 (98.5)	4位 (100.8)
黒川	2位 (135.0)	2位* (133.9)	2位* (126.4)	1位 (105.6)	2位 (101.4)	3位 (103.8)

・塩釜及び黒川圏域はワースト上位で推移している。岩沼圏域は100を超え、動向に注意する必要がある。
(*):有意であったもの

朝食欠食(朝食を抜くことが週3回以上ある)

*標準化該当比: 県を100として相対値で表しており、100より大きい場合、県平均と比べて出現割合が高いことを示している。



<圏域別標準化該当比 男性県内ワースト順位の推移>

圏域	H27	H28	H29	H30	R1	R2
塩釜	1位 (111.3)	2位* (106.3)	2位 (102.2)	2位 (101.8)	2位 (101.5)	2位 (101.0)
岩沼	3位 (99.7)	3位 (96.2)	4位 (98.2)	4位 (95.1)	3位 (96.6)	4位* (95.1)
黒川	4位 (98.7)	6位 (92.5)	3位 (98.4)	6位 (93.3)	5位* (93.1)	6位* (92.4)

- ・塩釜圏域はワースト上位を推移している。
- ・岩沼及び黒川圏域は、100を下回って推移している。 (*):有意であったもの

<圏域別標準化該当比 女性県内ワースト順位の推移>

圏域	H27	H28	H29	H30	R1	R2
塩釜	1位 (109.5)	2位 (105.6)	1位* (108.1)	1位 (110.2)	1位* (109.9)	1位* (110.3)
岩沼	6位 (92.5)	7位 (90.4)	6位* (93.2)	6位* (91.9)	6位* (93.3)	5位* (93.9)
黒川	3位 (103.3)	5位 (95.9)	5位 (94.6)	5位 (95.4)	4位 (99.9)	4位 (96.7)

- ・塩釜圏域はワースト上位を推移している。
- ・岩沼及び黒川圏域は、100を下回って推移している。 (*):有意であったもの

特定健診質問票 標準化該当比(令和2年度)

運動習慣の不足

(1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上、1年以上実施していない)

*標準化該当比: 県を100として相対値で表しており、100より大きい場合、県平均と比べて出現割合が高いことを示している。



<圏域別標準化該当比 男性県内ワースト順位の推移>

圏域	H27	H28	H29	H30	R1	R2
塩釜	10位 (96.9)	9位 (98.5)	9位 (98.1)	8位 (99.0)	9位 (98.8)	8位 (98.9)
岩沼	6位 (100.0)	6位 (100.5)	5位 (101.2)	6位 (100.3)	6位 (99.8)	7位 (99.6)
黒川	7位 (99.3)	7位 (100.0)	7位 (100.4)	5位 (100.4)	5位 (100.9)	6位 (100.8)

・圏域の差がほぼないため順位が上下すると考えられるが、3圏域ともに、ワースト順位下位で推移している。

<圏域別標準化該当比 女性県内ワースト順位の推移>

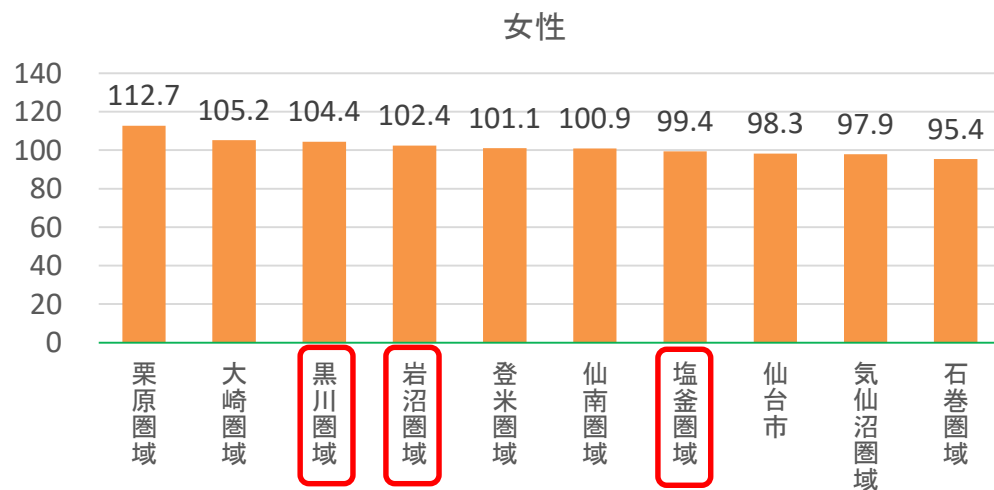
圏域	H27	H28	H29	H30	R1	R2
塩釜	9位 (96.1)	8位* (97.1)	10位* (96.9)	8位* (97.4)	8位* (97.5)	9位 (98.1)
岩沼	7位 (99.4)	6位 (99.6)	7位 (98.1)	6位 (99.1)	7位 (99.5)	6位 (100.0)
黒川	10位 (93.5)	9位* (96.5)	8位* (96.9)	9位 (97.3)	10位* (96.8)	7位 (99.2)

・塩釜及び黒川圏域は、ワースト順位下位で推移している。

(*):有意であったもの

睡眠状況(睡眠で休養が十分とれていない)

*標準化該当比: 県を100として相対値で表しており、100より大きい場合、県平均と比べて出現割合が高いことを示している。



<圏域別標準化該当比 男性県内ワースト順位の推移>

圏域	H27	H28	H29	H30	R1	R2
塩釜	7位 (93.1)	8位 (98.9)	7位 (99.2)	5位 (98.7)	4位 (98.1)	10位 (97.1)
岩沼	3位 (103.3)	1位* (103.9)	1位* (103.8)	1位* (103.8)	2位 (102.2)	4位 (100.8)
黒川	6位 (97.5)	3位 (101.6)	4位 (100.0)	4位 (98.9)	10位* (95.2)	7位 (99.2)

・塩釜及び黒川圏域は、県平均を超えない数値で推移しており、岩沼圏域はワースト上位で推移していた。
 (*): 有意であったもの

<圏域別標準化該当比 女性県内ワースト順位の推移>

圏域	H27	H28	H29	H30	R1	R2
塩釜	9位 (98.8)	5位* (103.5)	5位 (102.3)	6位 (99.5)	8位 (98.4)	7位 (99.4)
岩沼	4位 (101.1)	2位* (107.0)	2位* (105.3)	1位 (103.2)	2位* (103.3)	4位 (102.4)
黒川	6位 (100.8)	9位 (100.3)	8位 (97.9)	8位 (98.0)	9位* (95.1)	3位 (104.4)

・塩釜圏域はワースト下位、岩沼圏域は上位を推移し、黒川圏域は動向に注意する必要がある。
 (*): 有意であったもの

喫煙習慣(現在、たばこを習慣的に吸っている)

*標準化該当比: 県を100として相対値で表しており、100より大きい場合、県平均と比べて出現割合が高いことを示している。



<圏域別標準化該当比 男性県内ワースト順位の推移>

圏域	H27	H28	H29	H30	R1	R2
塩釜	6位 (103.5)	7位* (103.1)	6位* (103.2)	7位 (102.5)	6位* (102.9)	7位 (102.2)
岩沼	8位 (100.1)	9位 (98.9)	8位 (100.2)	9位 (99.4)	8位 (100.5)	8位 (100.7)
黒川	9位 (99.9)	8位 (101.3)	9位 (99.9)	8位 (100.2)	9位 (100.4)	9位 (98.4)

・H30の標準化該当比は管内で塩釜圏域が最も高いが、県内ワースト順位は比較的下位で推移している。 (*):有意であったもの

<圏域別標準化該当比 女性県内ワースト順位の推移>

圏域	H27	H28	H29	H30	R1	R2
塩釜	2位 (115.9)	1位* (116.7)	2位* (115.5)	2位* (115.6)	2位* (114.6)	3位* (112.0)
岩沼	7位 (89.9)	7位* (90.9)	6位 (96.6)	6位 (96.9)	6位 (95.7)	6位 (96.8)
黒川	6位 (98.6)	5位 (101.1)	5位 (100.0)	5位 (100.0)	5位 (105.1)	5位 (100.7)

・塩釜圏域は明らかに多く、ワースト上位で推移している。岩沼及び黒川圏域は概ね中～下位で推移している。 (*):有意であったもの

飲酒(お酒を毎日飲む)

* 標準化該当比: 県を100として相対値で表しており、100より大きい場合、県平均と比べて出現割合が高いことを示している

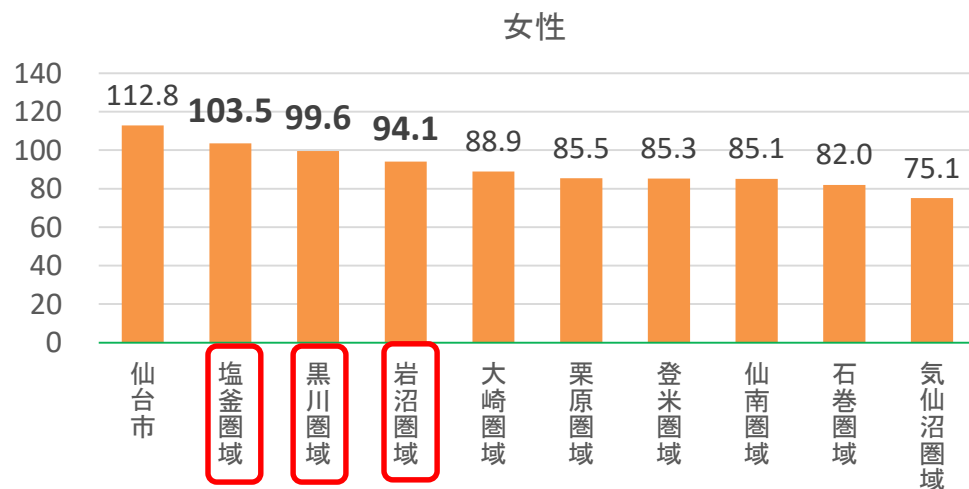
* 赤字: 当所R4年度資料を修正した箇所



<圏域別標準化該当比 男性県内ワースト順位の推移>

圏域	H27	H28	H29	H30	R1	R2
塩釜	4位 (106.3)	5位 (102.0)	5位 (101.2)	6位 (100.7)	5位 (102.1)	5位 (101.6)
岩沼	6位 (100.0)	8位 (97.6)	7位 (99.8)	7位 (99.3)	7位 (98.5)	6位 (100.8)
黒川	5位 (103.4)	6位 (99.8)	6位 (100.3)	5位 (102.1)	6位 (101.6)	7位 (99.3)

・3圏域ともに、ワースト順位は中位～下位で推移している。



<圏域別標準化該当比 女性県内ワースト順位の推移>

圏域	H27	H28	H29	H30	R1	R2
塩釜	2位 (105.7)	2位 (103.2)	3位 (102.0)	2位 (103.3)	2位 (101.5)	2位 (103.5)
岩沼	5位 (92.3)	4位 (94.9)	4位 (95.3)	4位* (93.8)	4位* (92.5)	4位* (99.6)
黒川	4位 (99.9)	3位 (95.4)	2位 (103.3)	3位 (99.6)	3位 (100.6)	3位 (94.1)

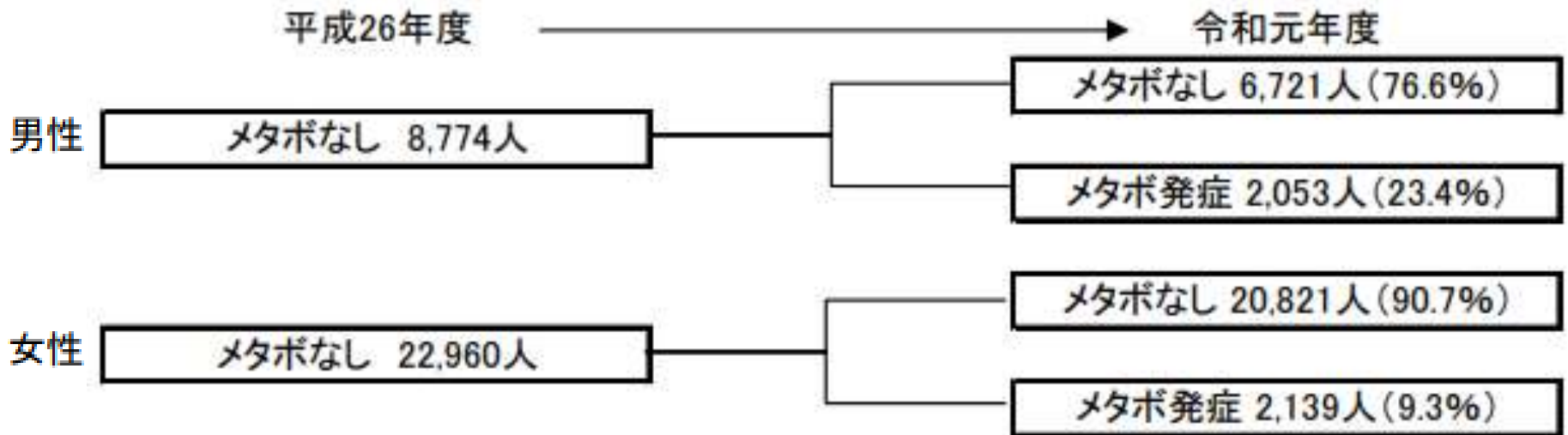
・塩釜圏域はワースト上位で推移し、岩沼及び黒川圏域は順位は高いが、概ね県平均以下で推移している。 (*):有意であったもの

8 特定健診データからみた 宮城県民のメタボ要因分析

分析の概要①

〈分析1：メタボ発症に関連する生活習慣〉

・平成26年度の特定健診でメタボでない者において、多変量ロジスティクス回帰分析により男女別に年齢を考慮し、標準的な質問票の基準群と比較した他群の令和元年度のメタボ発症のオッズ比と95%信頼区間を算出したもの。



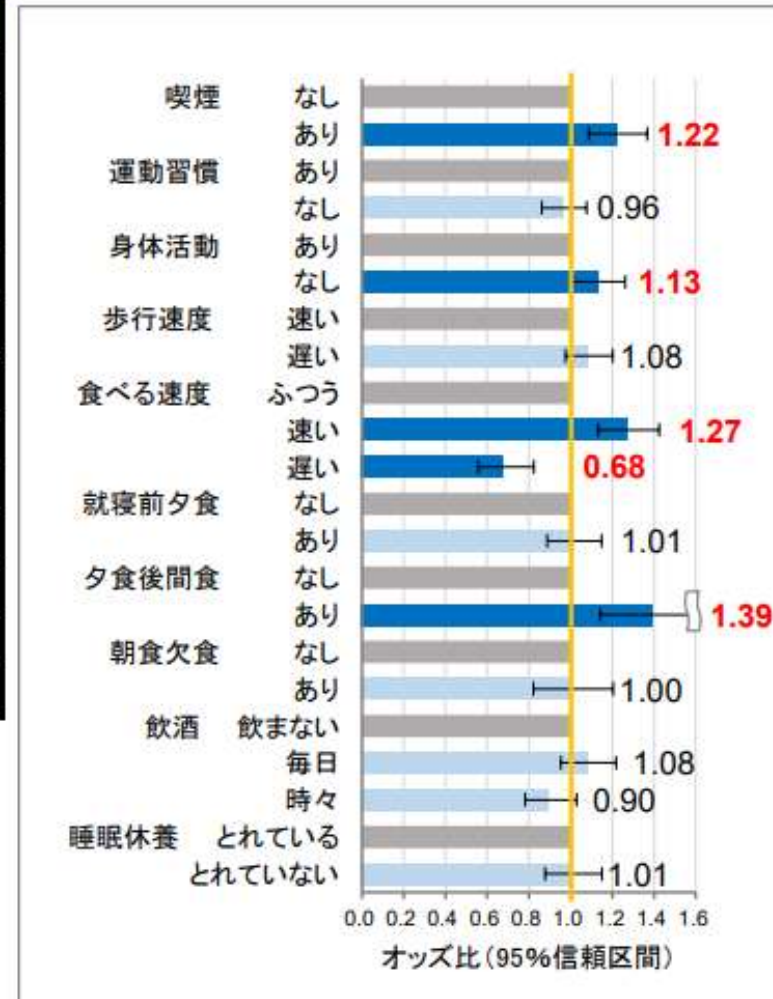
分析：仙台白百合女子大学公衆衛生学研究室

メタボ発症と関連する生活習慣(男性)

説明変数(基準群)		オッズ比	95%信頼区間	P値
年齢		1.01	(1.00-1.01)	0.082
喫煙(なし)	あり	1.22	(1.09-1.37)	<0.001
運動(あり)	なし	0.96	(0.86-1.08)	0.510
身体活動(あり)	なし	1.13	(1.01-1.26)	0.037
歩行速度(速い)	遅い	1.08	(0.97-1.20)	0.140
食べる速度(ふつう)	速い	1.27	(1.13-1.42)	<0.001
	遅い	0.68	(0.56-0.82)	<0.001
就寝前夕食(なし)	あり	1.01	(0.89-1.15)	0.886
夕食後間食(なし)	あり	1.39	(1.14-1.70)	0.001
朝食欠食(なし)	あり	1.00	(0.82-1.20)	0.957
飲酒(飲まない)	毎日	1.08	(0.95-1.22)	0.224
	時々	0.90	(0.78-1.03)	0.944
睡眠休養(とれている)	とれていない	1.01	(0.88-1.15)	0.133

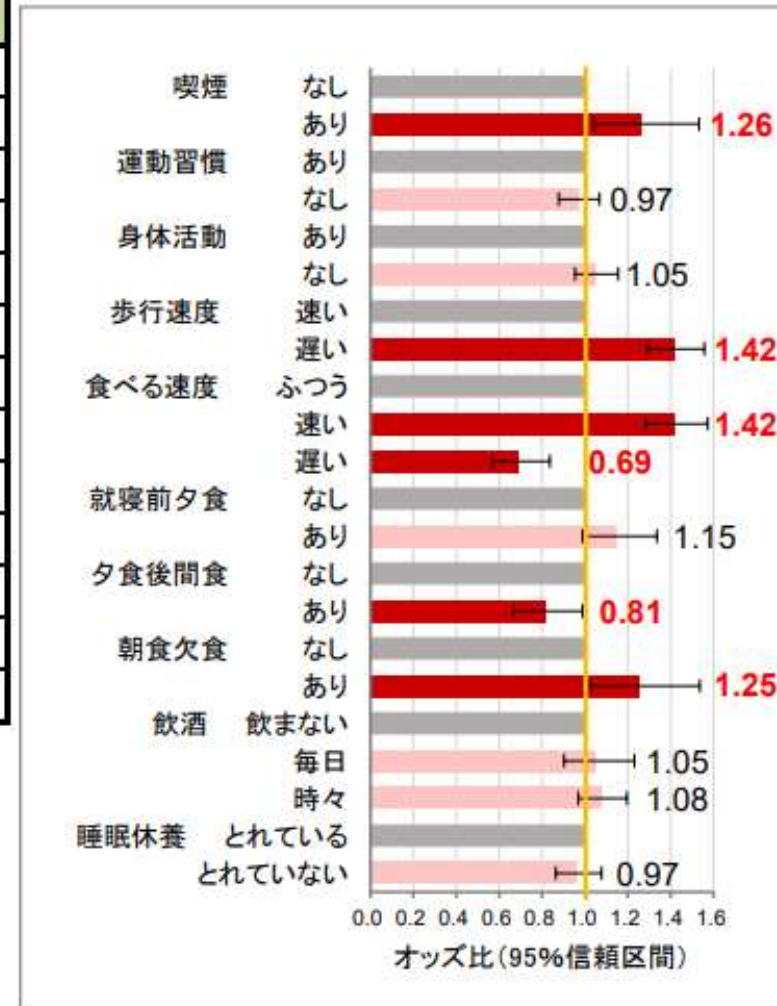
男性においてメタボ発症と関連のある生活習慣は、**喫煙、身体活動が少ない、食べる速度が速い、夕食後の間食がある**ことであった。

一方、非発症と関連のある生活習慣は、**食べる速度が遅い**ことであった。



メタボ発症と関連する生活習慣(女性)

説明変数(基準群)		オッズ比	95%信頼区間	P値
年齢		1.03	(1.02-1.04)	<0.001
喫煙(なし)	あり	1.26	(1.04-1.53)	0.018
運動(あり)	なし	0.97	(0.88-1.07)	0.514
身体活動(あり)	なし	1.05	(0.95-1.16)	0.327
歩行速度(速い)	遅い	1.42	(1.29-1.56)	<0.001
食べる速度(ふつう)	速い	1.42	(1.28-1.57)	<0.001
	遅い	0.69	(0.57-0.84)	<0.001
就寝前夕食(なし)	あり	1.15	(0.99-1.34)	0.069
夕食後間食(なし)	あり	0.81	(0.67-0.99)	0.004
朝食欠食(なし)	あり	1.25	(1.02-1.54)	0.028
飲酒(飲まない)	毎日	1.05	(0.90-1.23)	0.508
	時々	1.08	(0.97-1.20)	0.169
睡眠休養(とれている)	とれていない	0.97	(0.86-1.08)	0.526



女性においてメタボ発症と関連のある生活習慣は、**喫煙、歩行速度が遅い、食べる速度が速い、朝食欠食**をすることであった。

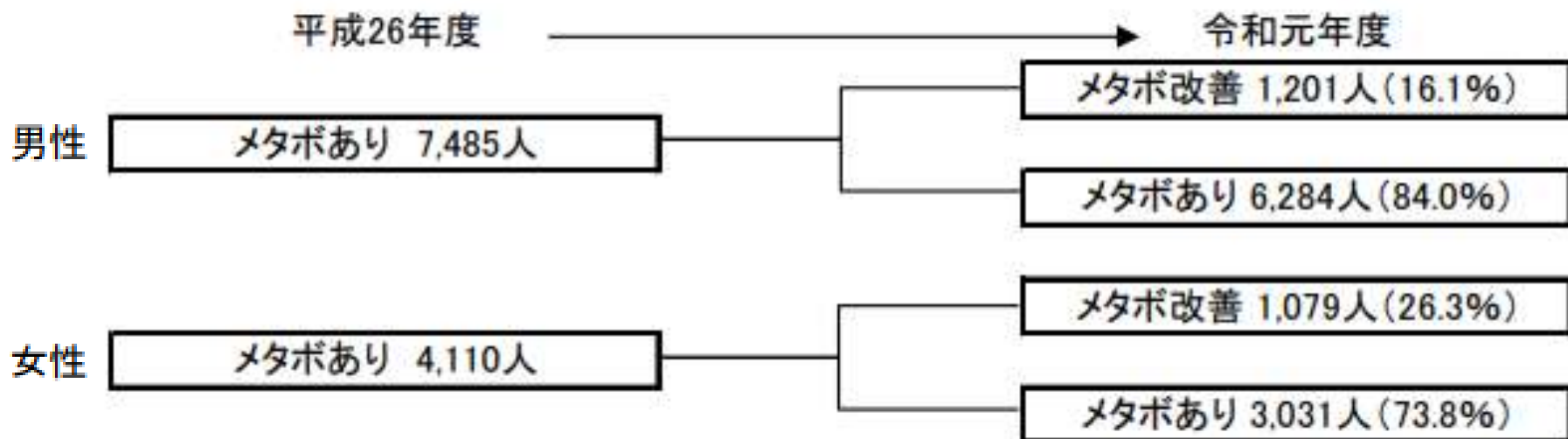
一方、非発症と関連のある生活習慣は、食べる速度が遅いことであった。

なお、夕食後に間食を摂取する者ほどメタボ発症をする可能性が低くなるとの結果が出たが、これまでの知見と反対の結果となったため、今後更なる分析を行う必要がある。

分析の概要②

〈分析2:メタボ改善に関連する生活習慣〉

・平成26年度の特定健診でメタボであった者において、多変量ロジスティクス回帰分析により男女別に年齢を考慮し、標準的な質問票の基準群と比較した他群の令和元年度のメタボ改善のオッズ比と95%信頼区間を算出したもの。

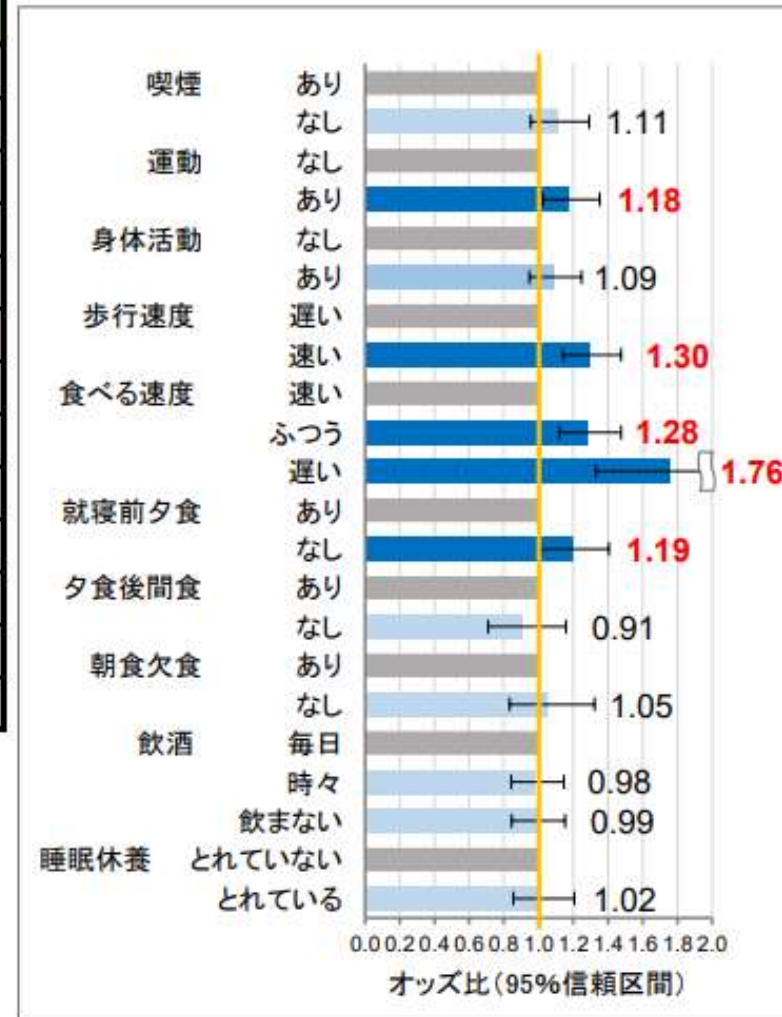


分析: 仙台白百合女子大学公衆衛生学研究室

メタボ改善と関連する生活習慣(男性)

説明変数(基準群)		オッズ比	95%信頼区間	P値
年齢		0.98	(0.97-0.99)	0.001
喫煙(あり)	なし	1.11	(0.95-1.29)	0.179
運動(なし)	あり	1.18	(1.02-1.35)	0.022
身体活動(なし)	あり	1.09	(0.95-1.25)	0.234
歩行速度(遅い)	速い	1.30	(1.14-1.48)	<0.001
食べる速度(速い)	ふつう	1.28	(1.12-1.48)	<0.001
	遅い	1.76	(1.33-2.32)	<0.001
就寝前夕食(あり)	なし	1.19	(1.01-1.41)	0.039
夕食後間食(あり)	なし	0.91	(0.71-1.16)	0.429
朝食欠食(あり)	なし	1.05	(0.83-1.32)	0.686
飲酒(毎日)	時々	0.98	(0.84-1.15)	0.815
	飲まない	0.99	(0.85-1.15)	0.873
睡眠休養(とれていない)	とれている	1.02	(0.86-1.21)	0.858

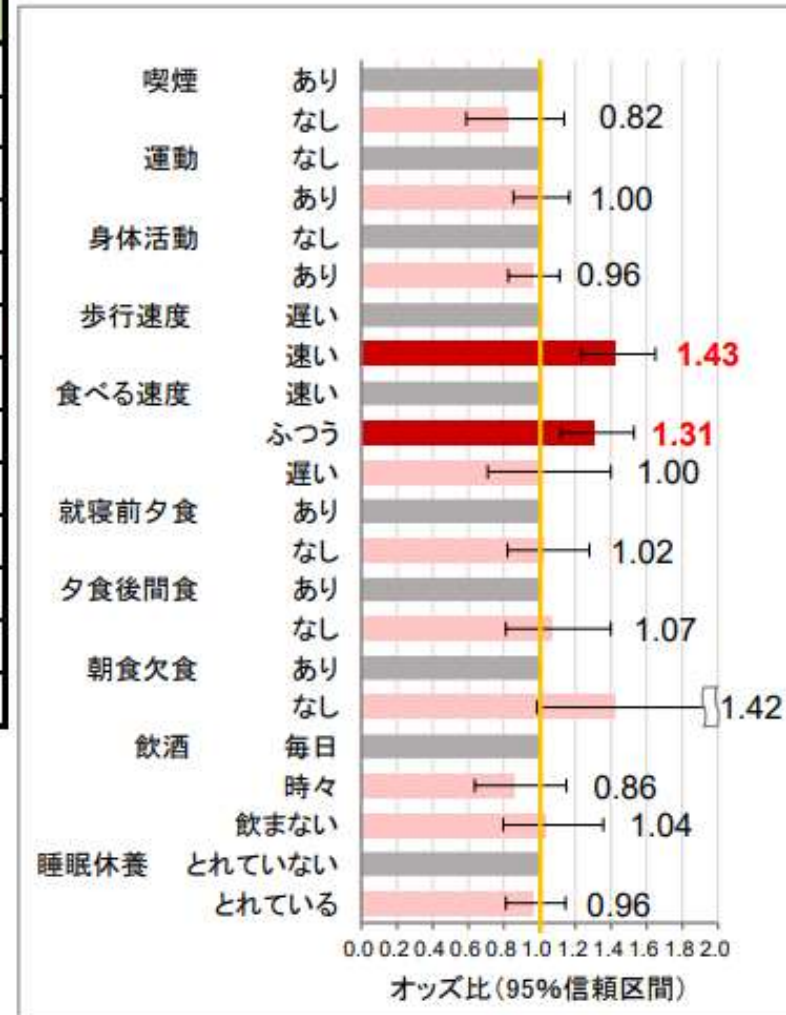
男性においてメタボ改善と関連のある生活習慣は、**運動をする、歩行速度が速い、食べる速度がふつう・遅い、就寝前夕食をしない**ことであった。



メタボ改善と関連する生活習慣(女性)

説明変数(基準群)		オッズ比	95%信頼区間	P値
年齢		1.01	(1.00-1.03)	0.161
喫煙(あり)	なし	0.82	(0.59-1.14)	0.234
運動(なし)	あり	1.00	(0.85-1.17)	0.980
身体活動(なし)	あり	0.96	(0.83-1.11)	0.572
歩行速度(遅い)	速い	1.43	(1.23-1.65)	<0.001
食べる速度(速い)	ふつう	1.31	(1.12-1.53)	<0.001
	遅い	1.00	(0.71-1.40)	0.987
就寝前夕食(あり)	なし	1.02	(0.82-1.28)	0.832
夕食後間食(あり)	なし	1.07	(0.81-1.40)	0.651
朝食欠食(あり)	なし	1.42	(0.98-2.04)	0.061
飲酒(毎日)	時々	0.86	(0.64-1.15)	0.300
	飲まない	1.04	(0.80-1.36)	0.779
睡眠休養(とれていない)	とれている	0.96	(0.81-1.15)	0.673

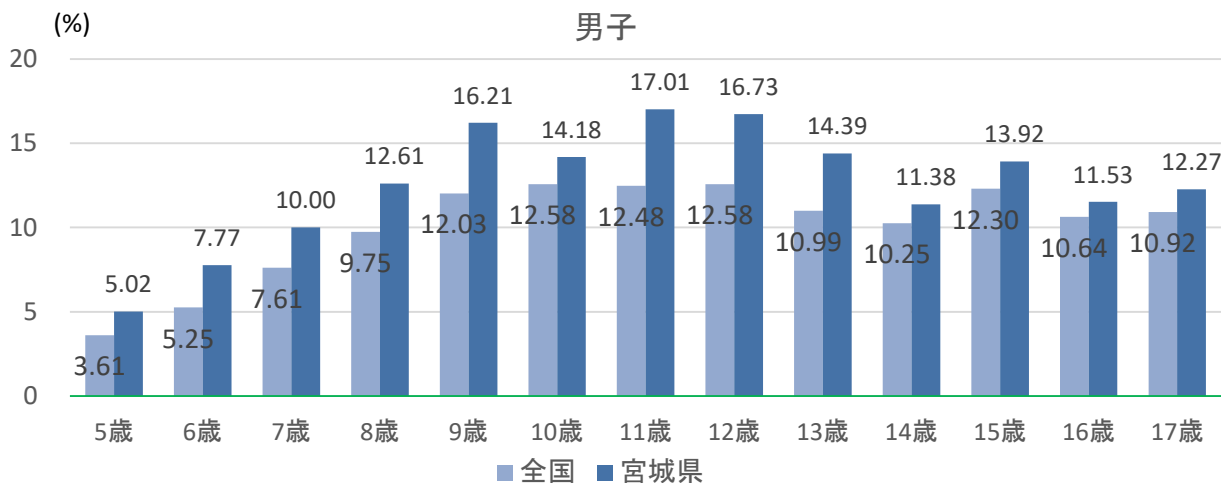
女性においてメタボ改善と関連のある生活習慣は、**歩行速度が速い**、**食べる速度がふつう**であることだった。



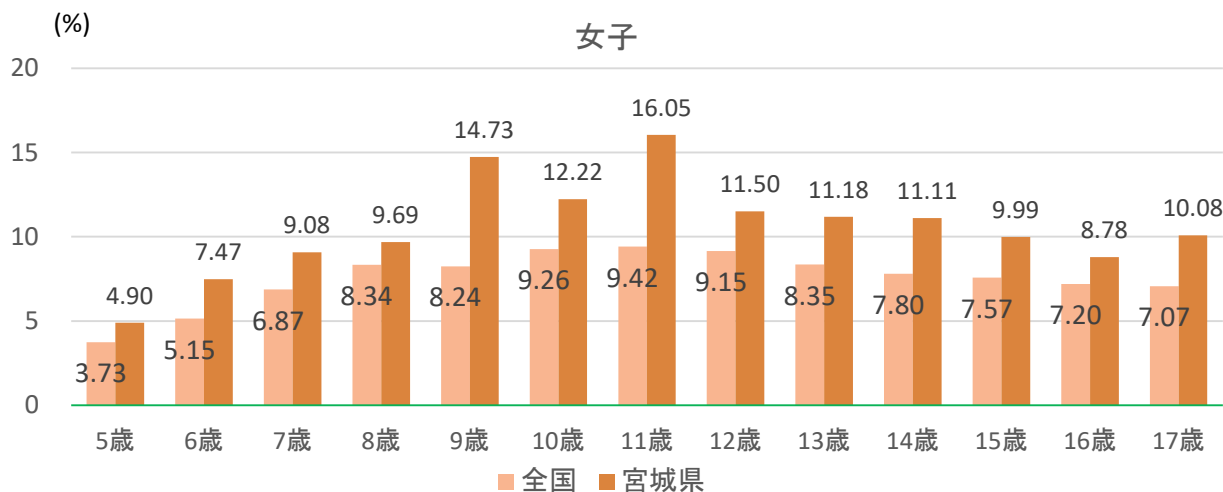
9 肥満傾向児の出現率の割合

肥満傾向児出現率の割合（令和3年度）

*肥満傾向児：性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が20%以上の者のこと。
 計算式は、(実測体重－身長別標準体重)／身長別標準体重×100(%)で求められる。

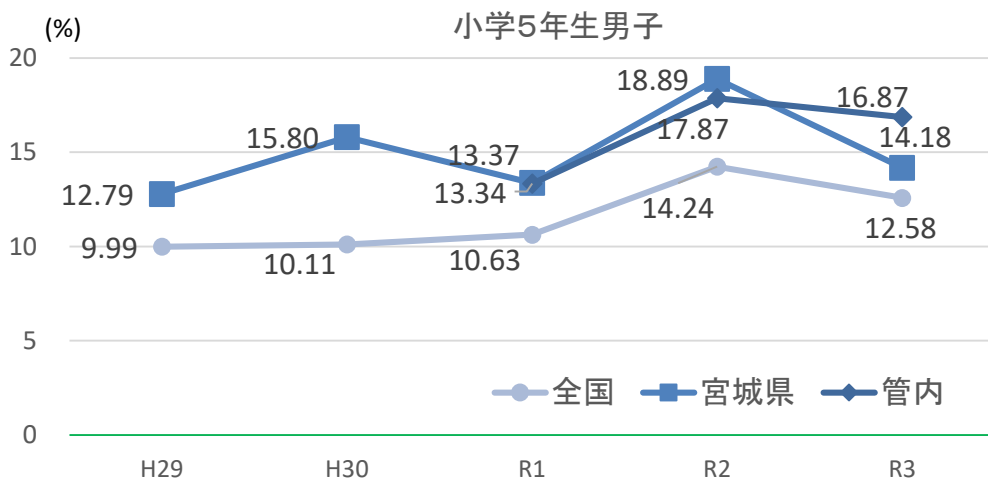


・全国と県を比較すると、男女ともにすべての年齢で全国値を超えていた。



肥満傾向児出現率の割合(小学5年生)

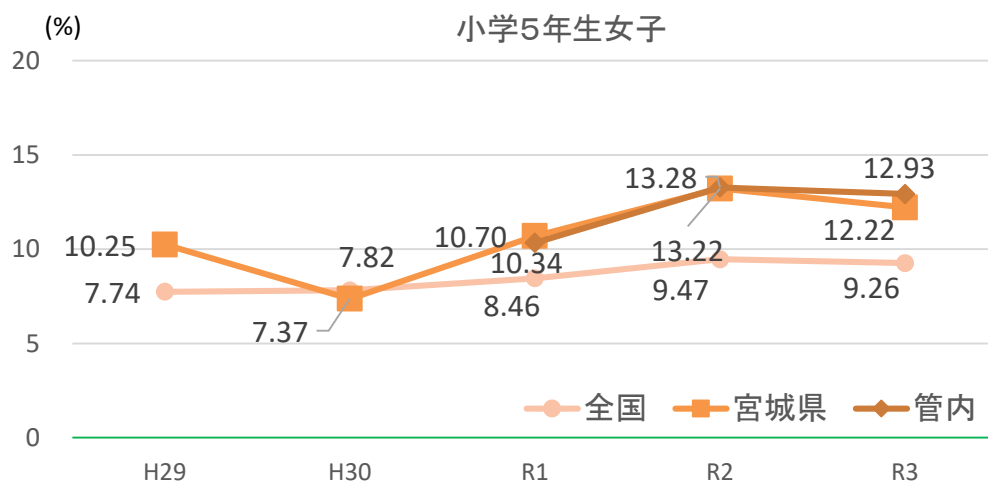
*肥満傾向児: 性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が20%以上の者のこと。
 計算式は、(実測体重－身長別標準体重)／身長別標準体重×100(%)で求められる。



<肥満傾向児の割合 小学5年生男子の推移>

(%)	H29	H30	R1	R2	R3
全国	9.99	10.11	10.63	14.24	12.58
県	12.79	15.80	13.37	18.89	14.18
管内	—	—	13.34	17.87	16.87

・管内(3圏域)で見ると、令和2年度までは県よりも低かったが、令和3年度は県を上回っている。



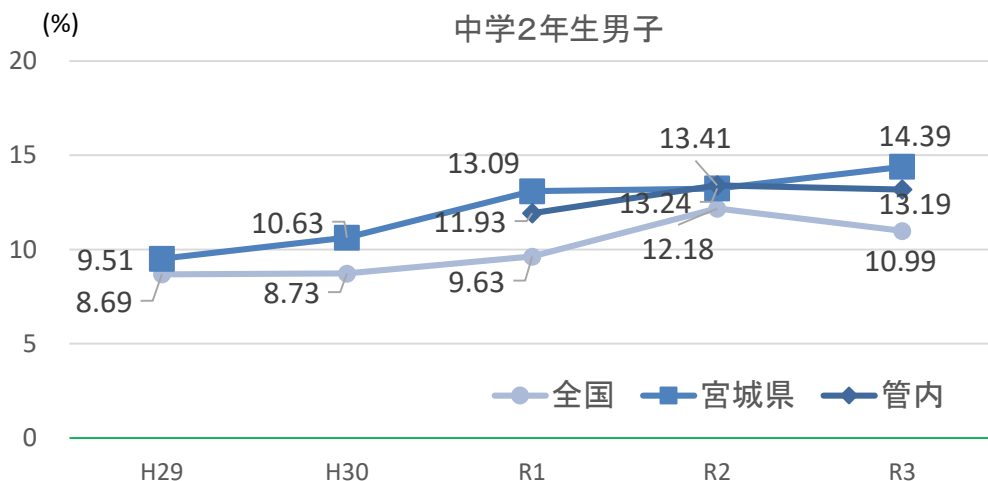
<肥満傾向児の割合 小学5年生女子の推移>

(%)	H29	H30	R1	R2	R3
全国	7.74	7.82	8.46	9.47	9.26
県	10.25	7.37	10.70	13.22	12.22
管内	—	—	10.34	13.28	12.93

・管内(3圏域)で見ると、令和元年度までは県よりも低かったが、令和2年度以降、少しずつ県を上回っている。

肥満傾向児出現率の割合(中学2年生)

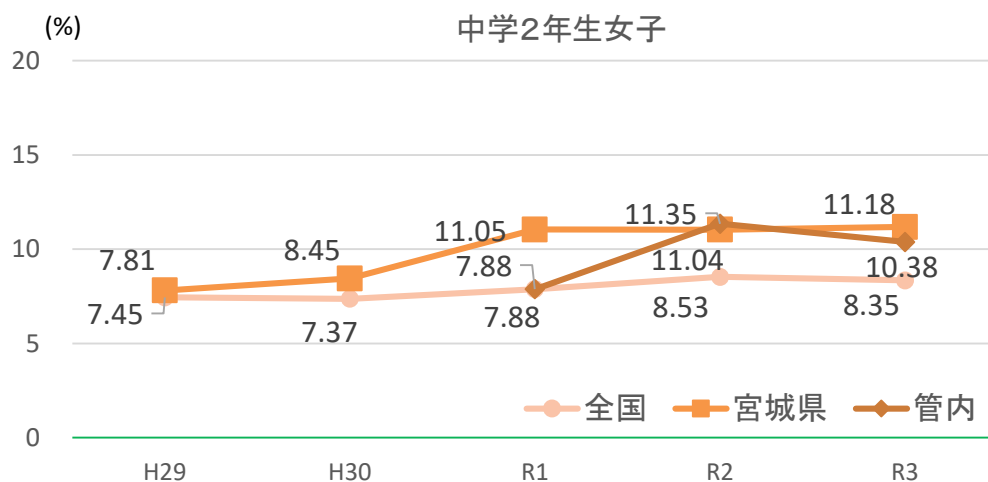
*肥満傾向児:性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が20%以上の者のこと。
 計算式は、(実測体重－身長別標準体重)／身長別標準体重×100(%)で求められる。



<肥満傾向児の割合 中学2年生男子の推移>

(%)	H29	H30	R1	R2	R3
全国	8.69	8.73	9.63	12.18	10.99
県	9.51	10.63	13.09	13.24	14.39
管内	—	—	11.93	13.41	13.19

・管内(3圏域)で見ると、令和元年度及び令和3年度は県を下回った。



<肥満傾向児の割合 中学2年生女子の推移>

(%)	H29	H30	R1	R2	R3
全国	7.45	7.37	7.88	8.53	8.35
県	7.81	8.45	11.05	11.04	11.18
管内	—	—	7.88	11.35	10.38

・管内(3圏域)で見ると、令和元年度及び令和3年度は県を下回った。

スライドで用いているデータの特徴と留意点について

1 データについて

- ・本スライドで用いているデータは「データからみたみやぎの健康」及び「宮城県児童生徒の健康課題統計調査結果」から抜粋し作成しています。
- ・圏域別、市町村別比較については、住所地データのある、市町村国民健康保険（以下「市町村国保」）及び全国健康保険協会宮城支部（以下「協会けんぽ」）のデータを用いました。
- ・市町村国保加入者は、自営業や農林水産業を営んでいる者、職場を退職した者やその家族などが加入し、協会けんぽは中小企業等で働く従業員やその家族が加入しています。そのため、協会けんぽに比べ、市町村国保では65歳以上の割合が多くなっています。

*市町村国保：40-69歳特定健診受診者約7万6千人 協会けんぽ：40-69歳受診者約22万2千人の状況（令和2年度）

医療保険制度の体系（全国）

（万人）



参考：厚生労働省ホームページ「医療保険制度の体系」引用（令和4年度）

スライドで用いているデータの特徴と留意点について

2 データの算出について

(1) 市町村別EBSMR（標準化死亡比）

年齢構成の差を取り除き地域の比較を行うための指標として、標準化死亡比（SMR）がありますが、小地域間の比較や経年的な動向を標準化死亡比で見る場合、死亡数が少ないと数値が大きく変動してしまいます。そのため、観測データ以外にも対象に関する情報を推定に反映させることが可能な「経験的ベイズ推定（EBSMR）」を使用しました。

当該市町村のEBSMRが100より大きい場合は、全国と比べて出現割合が高いことを示しています。

（計算：Estimator for Poisson-Gamma model（国立保健医療科学院技術評価部提供））

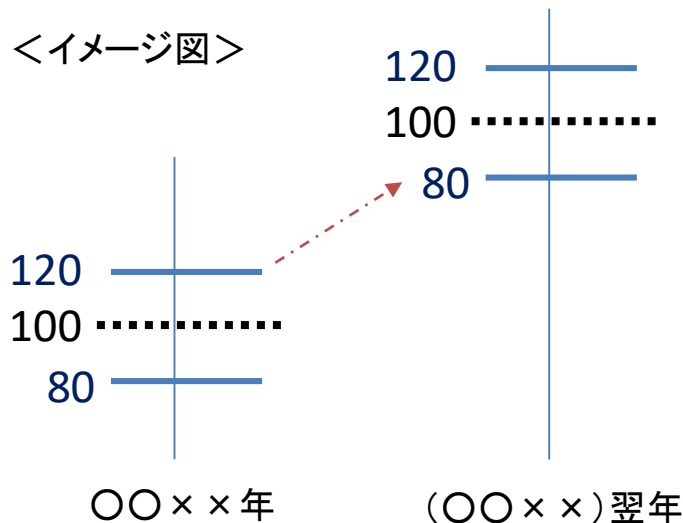
(2) 標準化該当比

特定健診の有所見率や質問票の回答率を、年齢構成による差を取り除き、市町村間比較するために基準集団（県）を100として相対値で表したもので、当該市町村の標準化該当比が100より大きい場合は、県平均と比べて出現割合が高いことを示しています。

*特定健診に係る圏域別や市町村別のグラフは、宮城県国民健康保険団体連合会（市町村国保）及び協会けんぽにデータを提供いただき、合意の上、標準化該当比を算出しています。

*市町村国保：40-69歳特定健診受診者約7万6千人 協会けんぽ：40-69歳受診者約22万2千人の状況（令和2年度）

<イメージ図>



全国または県と比べて、高いか低いだけを相対的に確認することができます。

例えば、全国の脳血管疾患年齢調製死亡率は低下傾向にあるため、経年推移がずっと120で不変だったとすると、「死亡の起こりやすさが改善していない」のではなく、「同年の全国に比べて1.2倍死亡が起こりやすいまま、全国と同じ速度で改善している」という解釈になります。